



2026年度

倉本橋

福山市神辺町地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		
	工事延長	L=46.9m	
	橋長	L=46.9m	
	有効幅員	W=4.6m	
	ひび割れ補修工	L=140.3m	
	断面修復工	A=49m ² (V=2m ³)	
	表面保護工	A=596m ²	
	橋面防水工	A=213m ²	
	伸縮目地工	L=21.6m	
	防護柵工	L=93.6m	
	仮設工	一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（倉本橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黒板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第5節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第6節 工事に着手すべき期日について（特別な事情がある場合）

本工事は河川管理者との協議により、2026年(令和8年)6月16日から2026年(令和8年)10月20日の間、本体工事及び仮設工事を施工してはならない。
受注者は、この期間終了日の翌日から30日以内に工事着手しなければならない。

第7節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第8節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 工事支障物件

- ・調査項目：水道管、通信管位置確認
- ・調査時期：工事施工前に配管位置、移設の有無等の確認を行うこと。
- ・提出書類：受注者は、工事着手に先立ち、水道管、ガス管、その他の添架物及び地下埋設物の調査を行い、施工による不測の事態に対処するため、各管理者（水道管の場合は監督員）に誓約書を提出すること。

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正值を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正值を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正值（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正值の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第5節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：吊足場

第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08.06.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 【材料種類】	1	式			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長140m		構造物			S1020037 00
断面修復工	1	構造物			単第0 -0001 表 Y1G032405 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	式			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積2.295m3		構造物			S1020041 00
	1	構造物			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面被覆工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理		橋			Y1G03240601 レベル4
表面被覆工 下地処理	596	m2			F0000000001 00
表面被覆工 被覆材塗布 高分子系浸透性防水材(アイゾールEX相当品)	596	m2			V0001 00 単第0 -0003 表
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
橋梁塗装工	1	式			Y1G032501 レベル3
素地調整 【素地調整種類】		m2			Y1G03250101 レベル4
塗替塗装 清掃・水洗い	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0004 表
塗替塗装 素地調整	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0006 表
塗替塗装 下塗り塗装	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0006 表
塗替塗装 下塗り塗装	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0006 表
中塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0007 表
上塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250104レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0008 表
橋面防水工	1	式			Y1G0304 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
薄層舗装工					Y1G030406 レベル3
	1	式			
薄層舗装 【舗装色,規格・仕様】		m2			Y1G03040607 レベル4
橋面防水工 路面洗浄工 耐摩耗性型複合薄層遮水性舗装に伴う	213	m2			V0009 00 単第0 -0009 表
橋面防水工 耐摩耗性型複合薄層遮水性舗装 スーパーロメンパッチDN工法相当	213	m2			V0002 00 単第0 -0010 表
橋梁付属物工					Y1G0321 レベル2
	1	式			
伸縮継手工					Y1G032101 レベル3
	1	式			
鋼・ゴム製伸縮装置補修 【工種,伸縮装置本体型式】 【仕様,伸縮装置本体材料の計上】		m			Y1G03210103 レベル4
目地処理工 簡易補修 遊間20mm 高機能止水材 メジエイドMA20相当品	11	m			V0003 00 単第0 -0011 表
目地処理工 簡易補修 遊間30mm 高機能止水材 メジエイドMA30相当品	1	箇所			V0004 00 単第0 -0012 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
目地処理工 簡易補修 遊間40mm 高機能止水材 メジエイドMA40相当品	1	箇所			V0005 00 単第0 -0013 表
排水施設工	1	式			Y1G032103 レベル3
排水装置 【管規格】		m			Y1G03210302 レベル4
排水装置設置工 TSステンレス排水装置	1	橋			V0010 00 単第0 -0014 表
橋梁用防護柵工	1	式			Y1G032105 レベル3
橋梁用防護柵		m			Y1G03210501 レベル4
防護柵設置工 ベースプレート式 笠木付 支柱H1025 Gr-C-2B-4-BPL PY-F1(トク)相当品	1	橋			V0006 00 単第0 -0017 表
橋名板等取付 橋名板 300×150×15	4	枚			SPK25040297 00 単第0 -0020 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵撤去工	1	式			Y1G032701 レベル3
防護柵撤去(ガードレール)		m			Y1G03270101レベル4
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 Ap,Bp,Cp(支柱間隔2m)	95	m			SS000127 00 単第0 -0021 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	2	m3			SPK25040155 00 単第0 -0022 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻受入費 再生工場搬入	5	t			T9005 00

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品運搬 【発生材種類】		回			Y1G03271603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離6.0km以下(4.0km超)	2	t			SPK25040411 00 単第0 -0023 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ ヘビーH3	2	t			F0000000033 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y1G032816 レベル3
足場 【作業区分,基礎形式,高さ】		m			Y1G03281602レベル4
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満 床面の板張防護含む	228	m2			S3030011 00 単第0 -0024 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔	228	m 2			S3030013 00 単第0 -0025 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護工（床版補強工） 朝顔部 板張防護工 両側朝顔	228	m 2			S3030015 00 単第0 -0026 表
防護工（床版補強工） 朝顔部 シート張防護工 両側朝顔	228	m 2			S3030015 00 単第0 -0027 表
シート張防護工 両面朝顔	228	m2			S3070083 00 単第0 -0028 表
片側朝顔防護足場 タイプE シート及び板張防護 両側施工 A=176m2	1	式			F0000000034 00
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G03282101レベル4
交通誘導警備員B	56	人			R0369 00
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0011

[illegible]

図面番号	1/23	縮尺	S=1:10000
工種	橋梁修繕工事		
種別	位置図		
橋梁名称	倉本橋		
施工箇所	福山市神辺町地内		

位置図

S=1/10,000



福山市

令和8年度

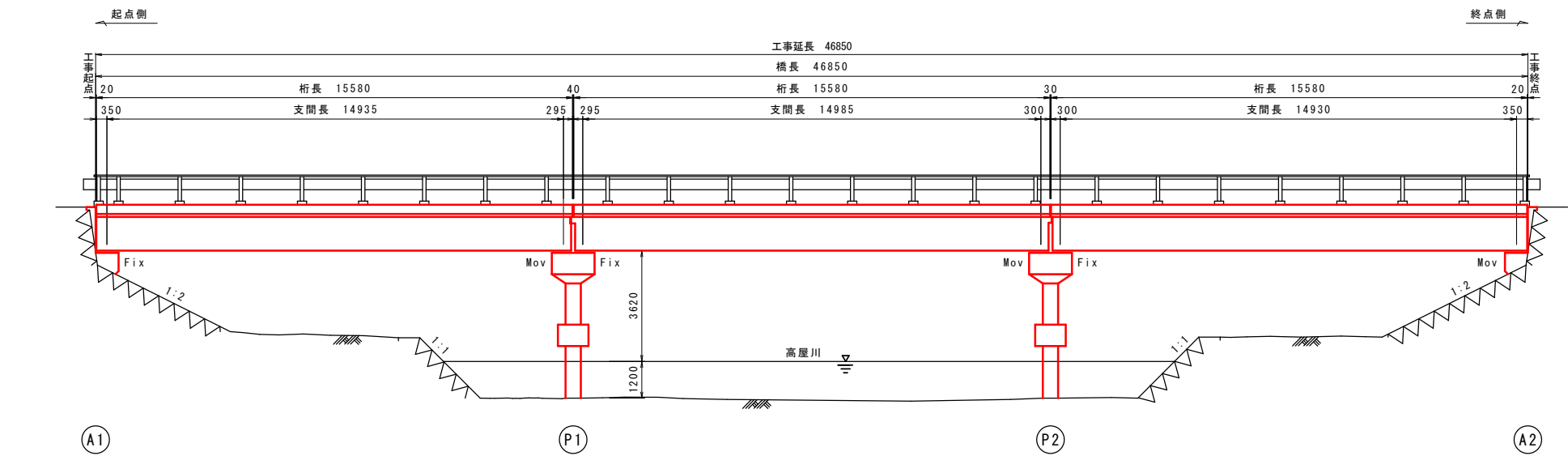
国補



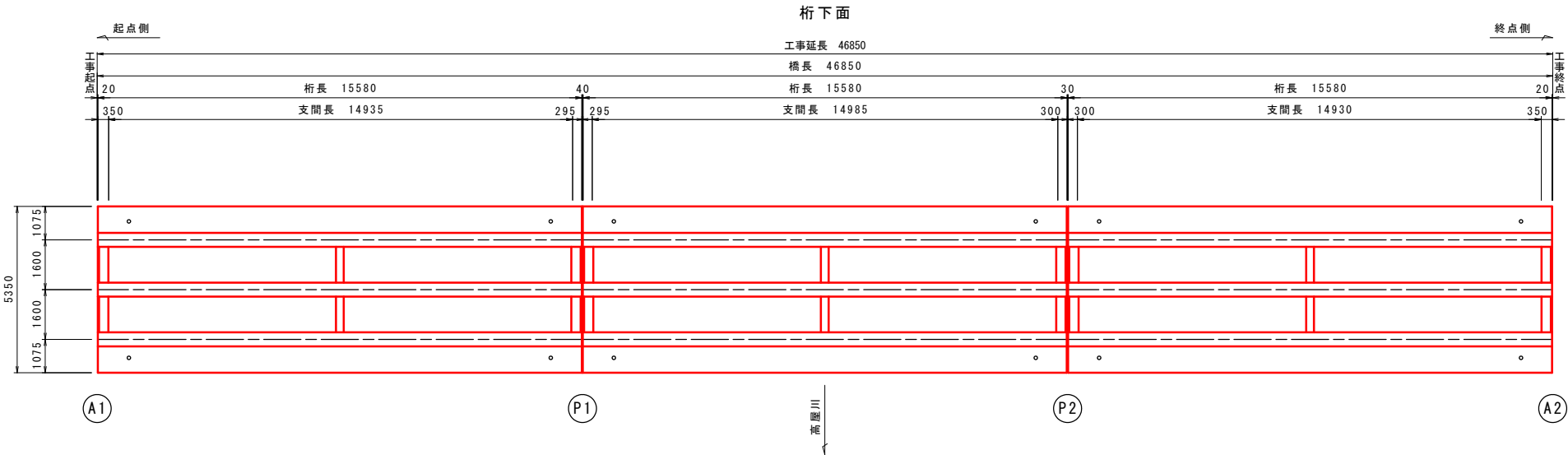
工事施工箇所

橋梁一般図

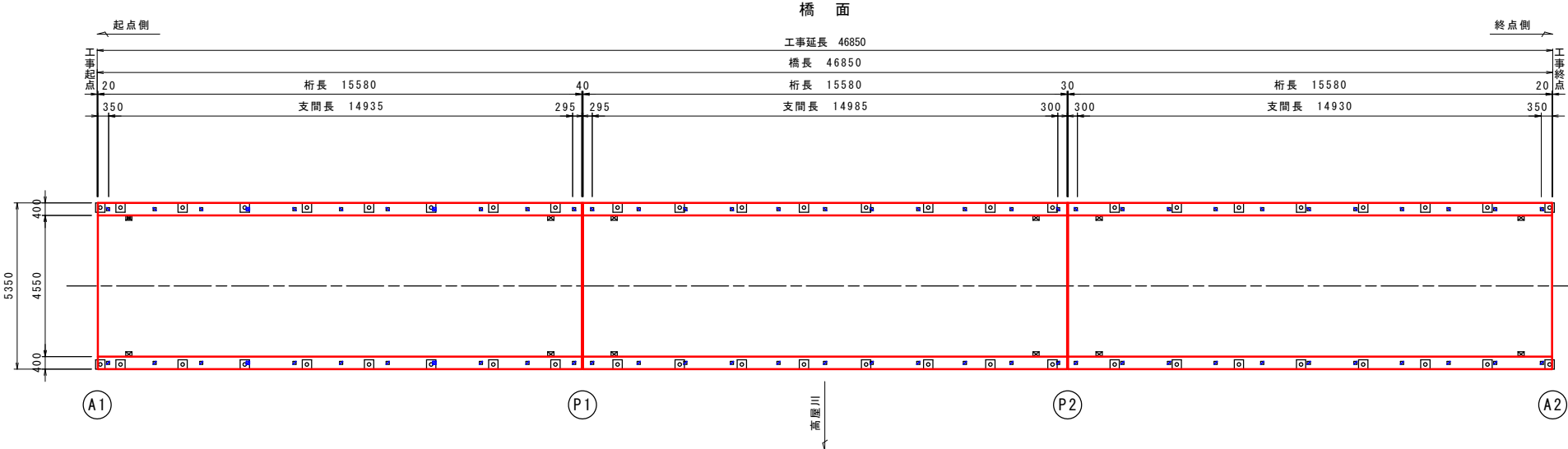
側面図 S=1:100



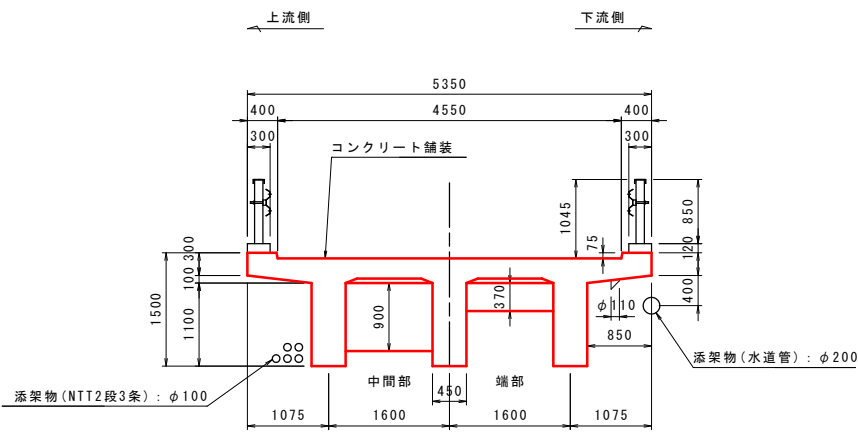
平面図 S=1:100



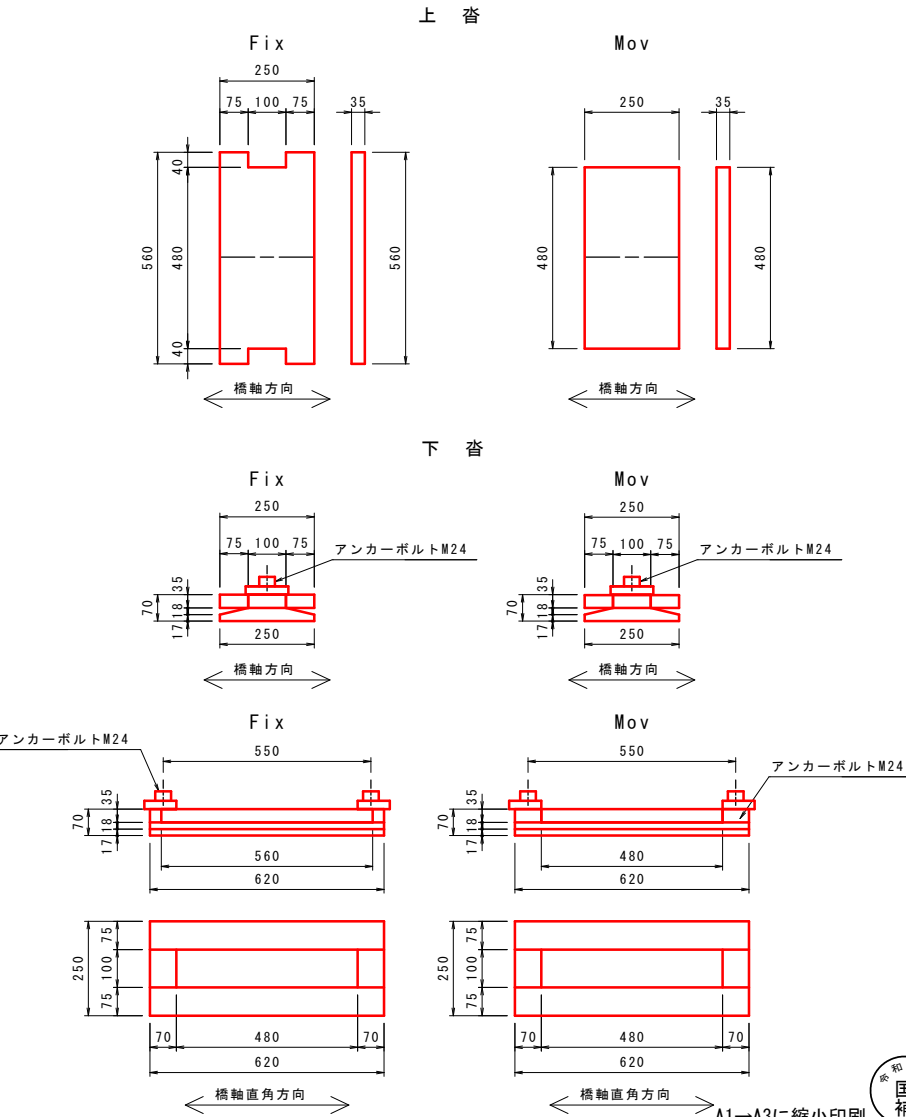
平面図 S=1:100



断面図 S=1:50



支承詳細図 S=1:10



工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	橋梁一般図		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		



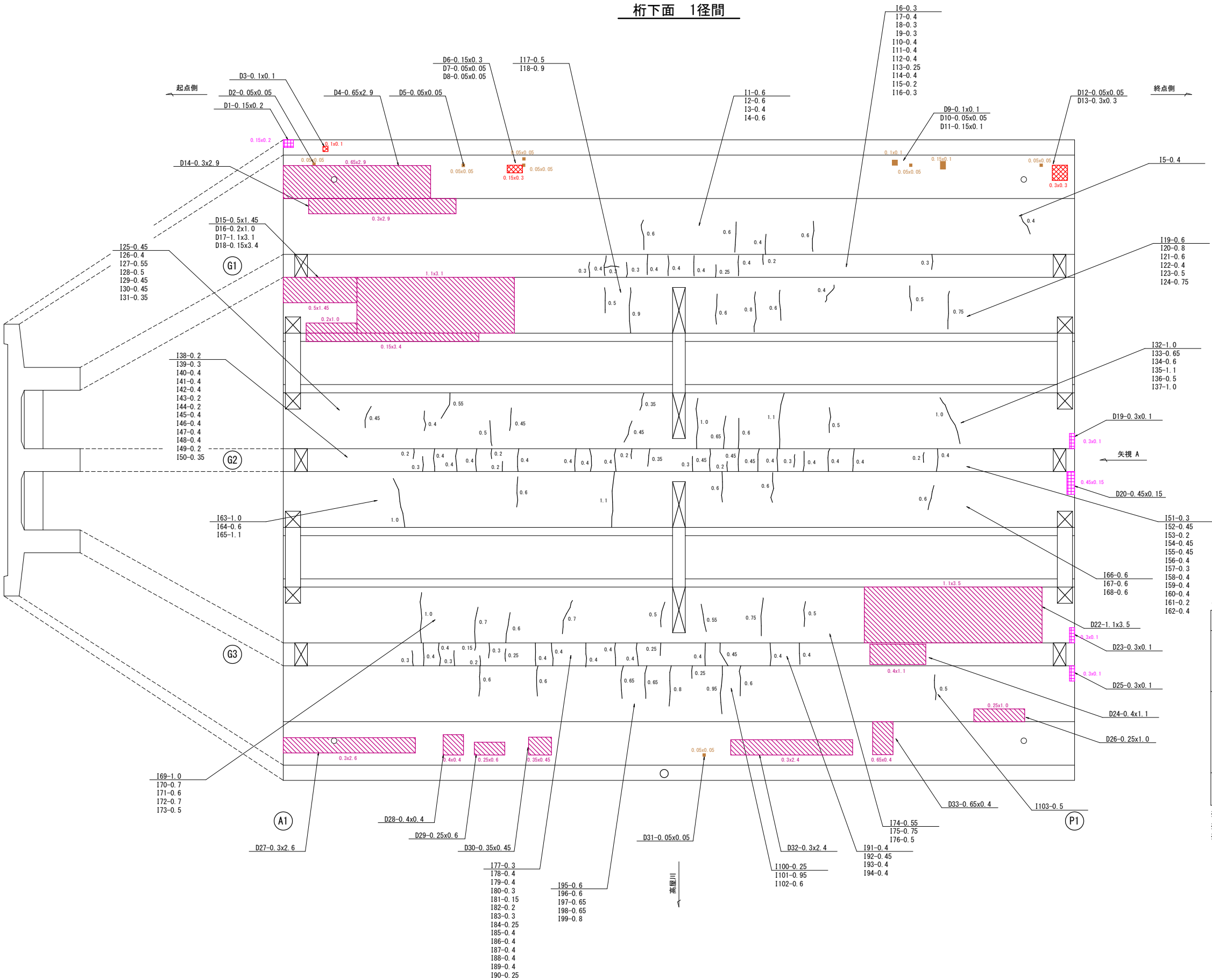
工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修計画一般図		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その1）

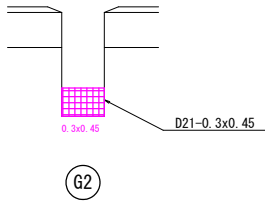
S=1:40

ひびわれ補修工, 断面修復工

桁下面 1径間



主 桁
矢視 A



凡 例

補修工法		
I		ひびわれ注入工 (0.2mm ≤ W < 0.5mm)
		ひびわれ注入工 (0.5mm ≤ W < 1.0mm)
		ひびわれ注入工 (1.0mm ≤ W ≤ 5.0mm)
D		断面修復工 (左官工法)
I0-0.00/0.00		補修工法 補修番号-幅/補修延長
D0-0.00x0.00		補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

※ 土砂堆積、補生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 断面修復によるはつり後に鉄筋露出した場合は、ケレン・防錆処理を行うこと。

A1→A3に縮小印刷

工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図(その1)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

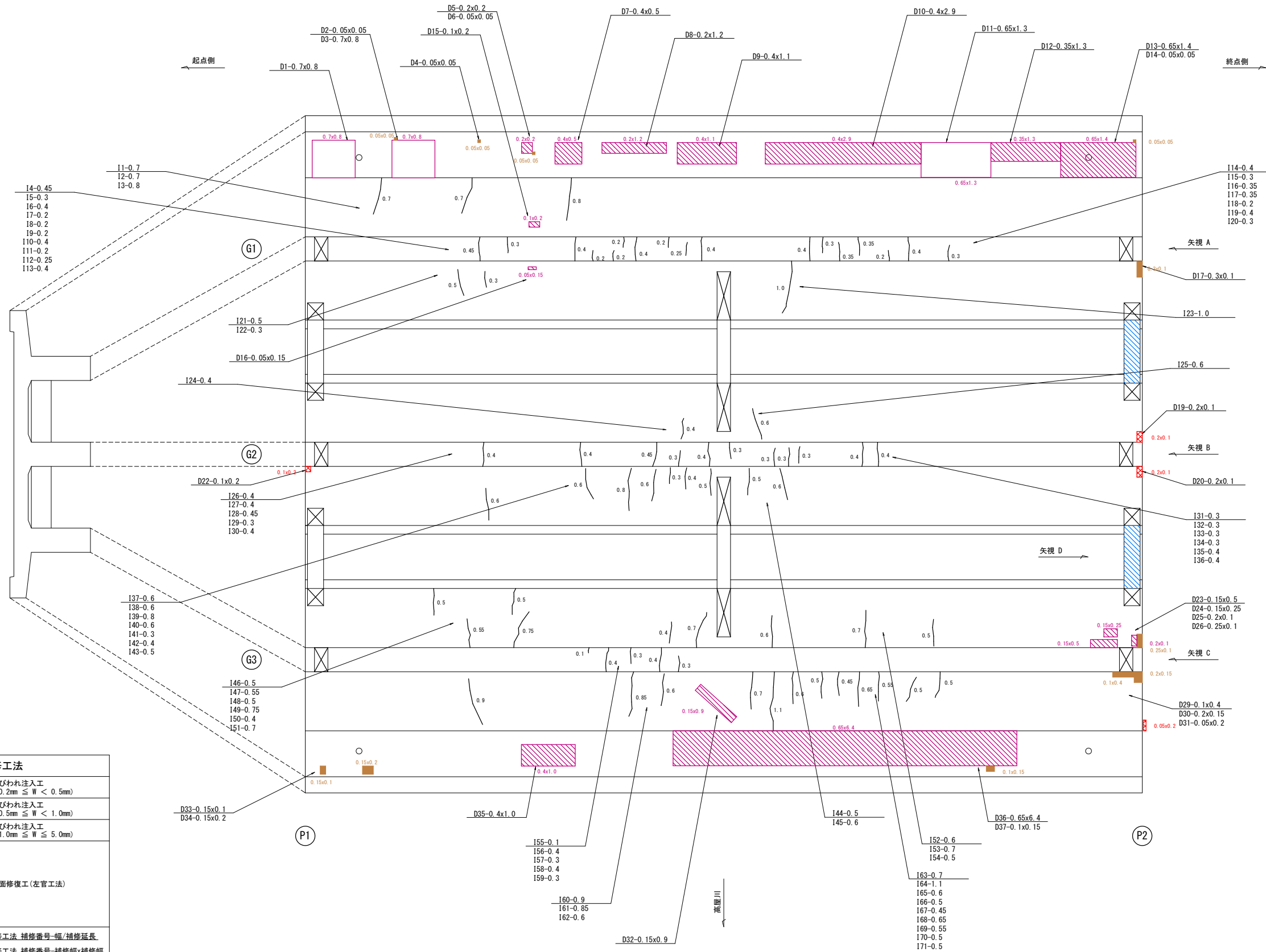


補修図（その2）

S=1:40

ひびわれ補修工, 断面修復工

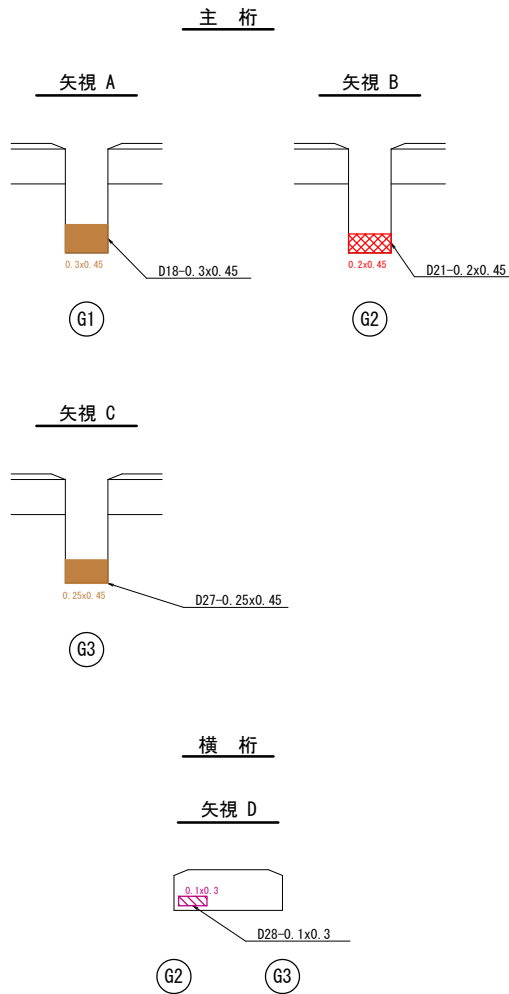
桁下面 2径間



凡 例

補修工法	
I	ひびわれ注入工 (0.2mm ≧ W < 0.5mm)
	ひびわれ注入工 (0.5mm ≧ W < 1.0mm)
	ひびわれ注入工 (1.0mm ≧ W ≦ 5.0mm)
D	断面修復工 (左官工法)
10-0.00/0.00 補修工法 補修番号-幅/補修延長	
D0-0.00x0.00 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅	

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 断面修復によるはつり後に鉄筋露出した場合は、ケレン・防錆処理を行うこと。



A1→A3に縮小印刷

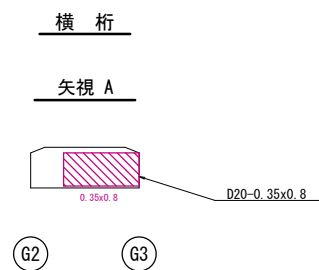
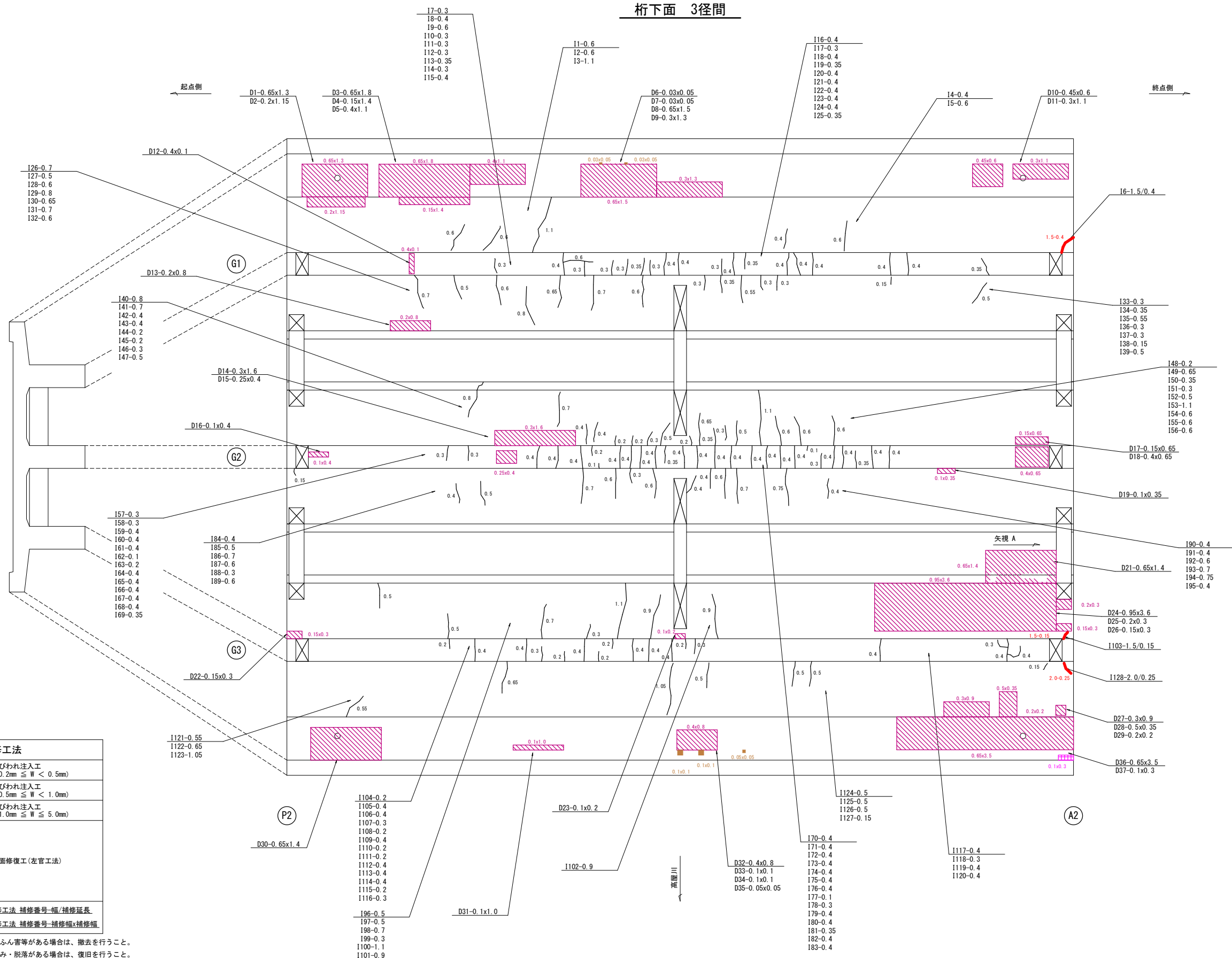
工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図（その2）		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	5 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その3）

S=1:40

ひびわれ補修工, 断面修復工

桁下面 3径間



凡 例

補修工法	
I	ひびわれ注入工 (0.2mm ≧ W < 0.5mm)
I	ひびわれ注入工 (0.5mm ≧ W < 1.0mm)
I	ひびわれ注入工 (1.0mm ≧ W ≦ 5.0mm)
D	断面修復工 (左官工法)
D	断面修復工 (左官工法)
D	断面修復工 (左官工法)
D	断面修復工 (左官工法)
D	断面修復工 (左官工法)
10-0.00/0.00	補修工法 補修番号-幅/補修延長
00-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 断面修復によるはつり後に鉄筋露出した場合は、ケレン・防錆処理を行うこと。

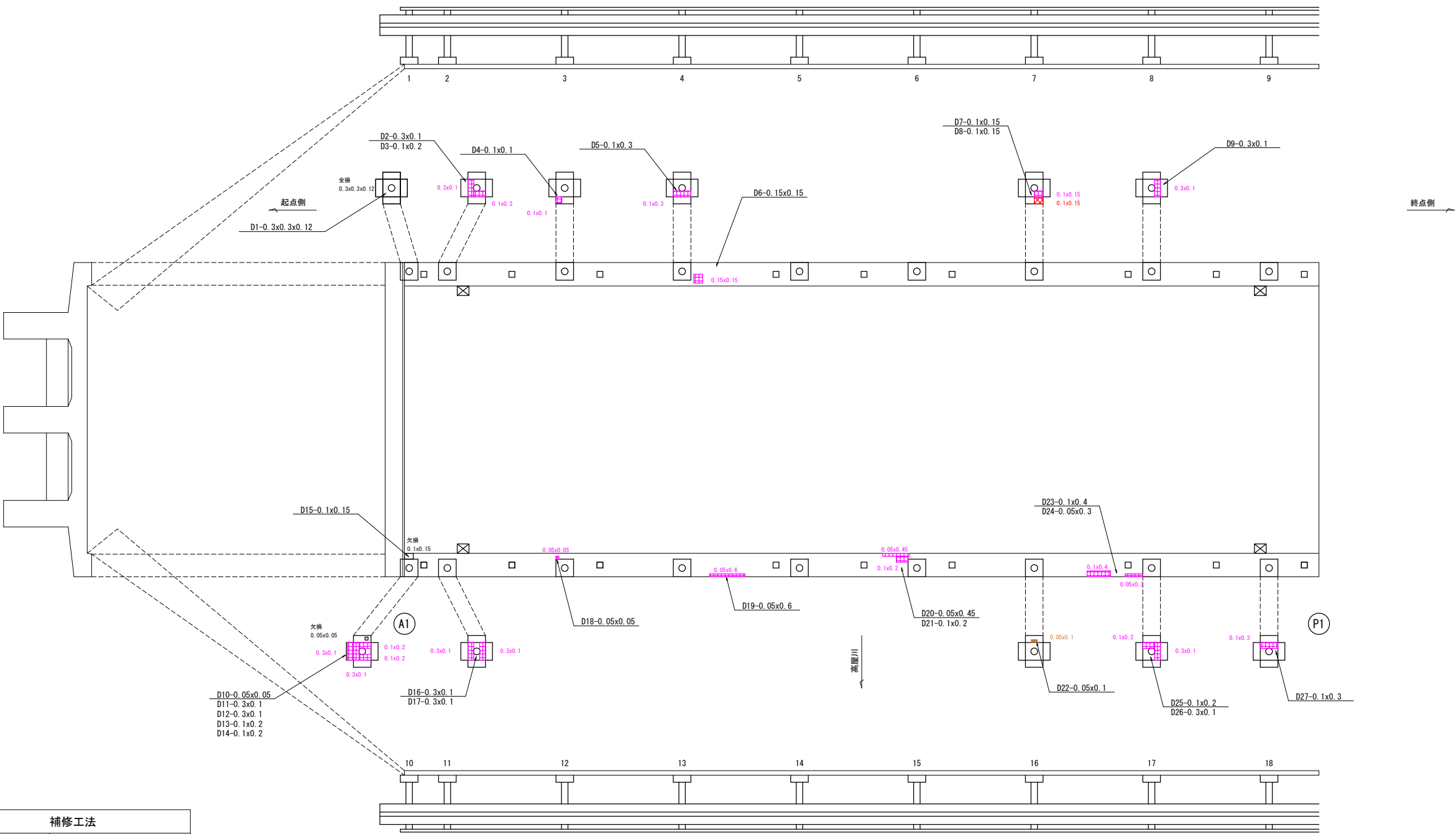
A1→A3に縮小印刷	
工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）
図面名	補修図（その3）
作成年月日	令和 8 年 6 月
縮尺	図示
図面番号	6 / 23
会社名	
事業者名	福山市 神辺建設産業課

補修図（その4）

S=1:40

断面修復工

橋 面 1径間



凡 例

補修工法	
D	断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 断面修復によるはつり後に鉄筋露出した場合は、ケレン・防錆処理を行うこと。

A1→A3に縮小印刷



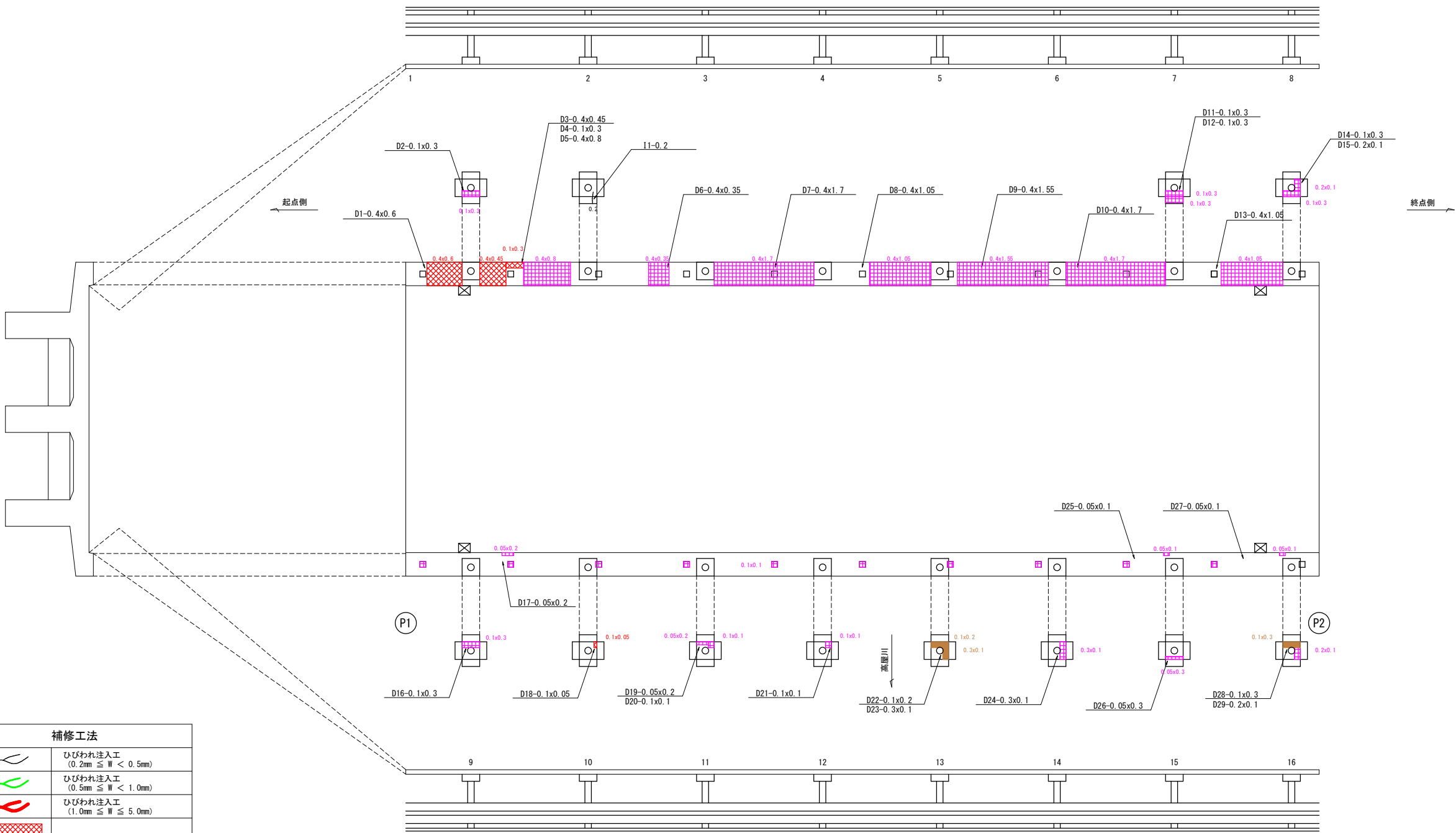
工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図（その4）		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その5）

S=1:40

ひびわれ補修工, 断面修復工

橋 面 2径間



凡 例

補修工法	
I	ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
I	ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
I	ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
D	断面修復工(左官工法)
10-0.00/0.00 補修工法 補修番号-幅/補修延長	
D0-0.00x0.00 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅	

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 断面修復によるはつり後に鉄筋露出した場合は、ケレン・防錆処理を行うこと。

A1→A3に縮小印刷

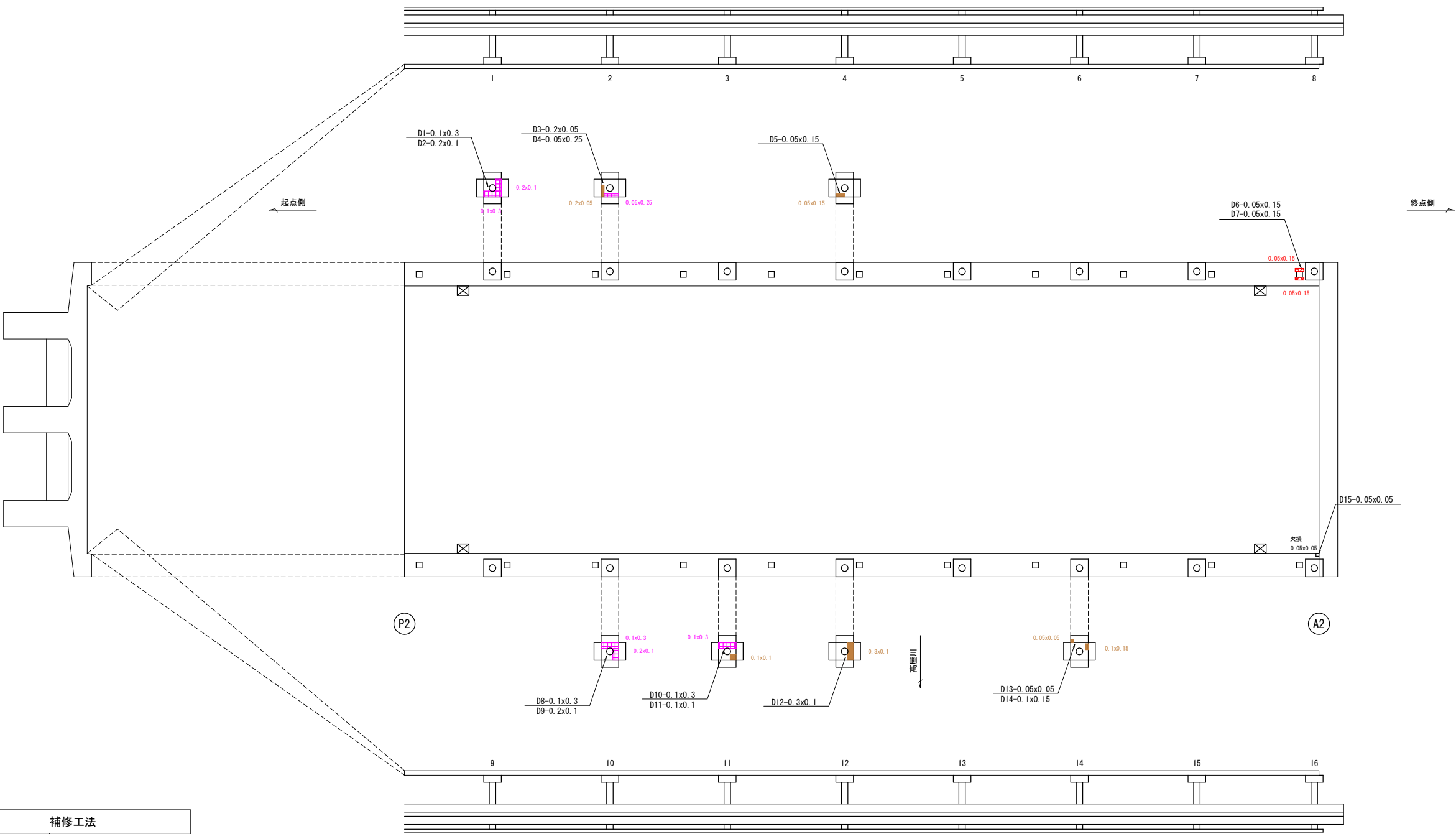
工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図(その5)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その6）

S=1:40

断面修復工

橋 面 3径間



凡 例

補修工法	
D	断面修復工 (左官工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 断面修復によるはつり後に鉄筋露出した場合は、ケレン・防錆処理を行うこと。



A1→A3に縮小印刷

工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図(その6)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その7）

S=1:20

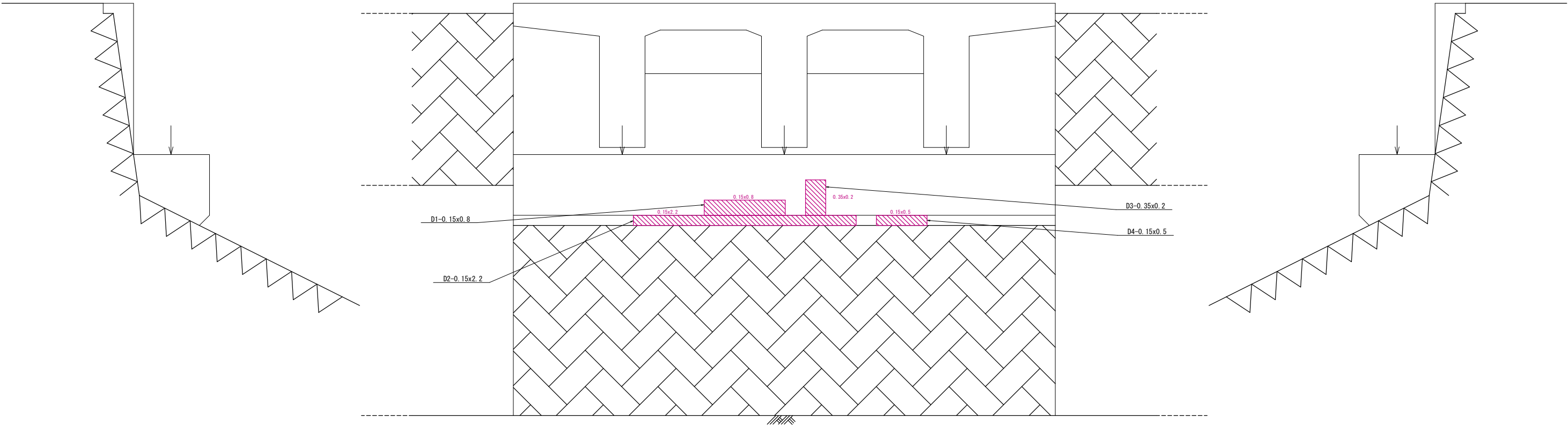
断面修復工

A1橋台

下流側

正面

上流側



凡 例

補修工法		
D		断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00		補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 断面修復によるはつり後に鉄筋露出した場合は、ケレン・防錆処理を行うこと。



A1→A3に縮小印刷

工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図(その7)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

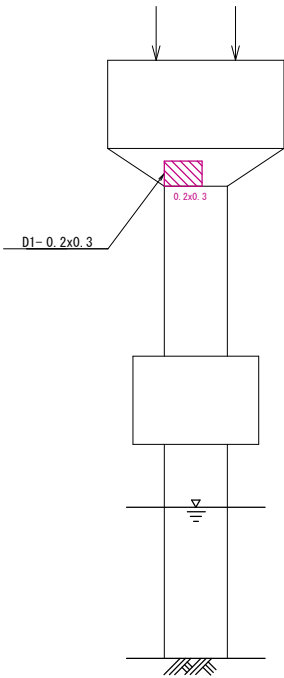
補修図（その 8）

S=1:30

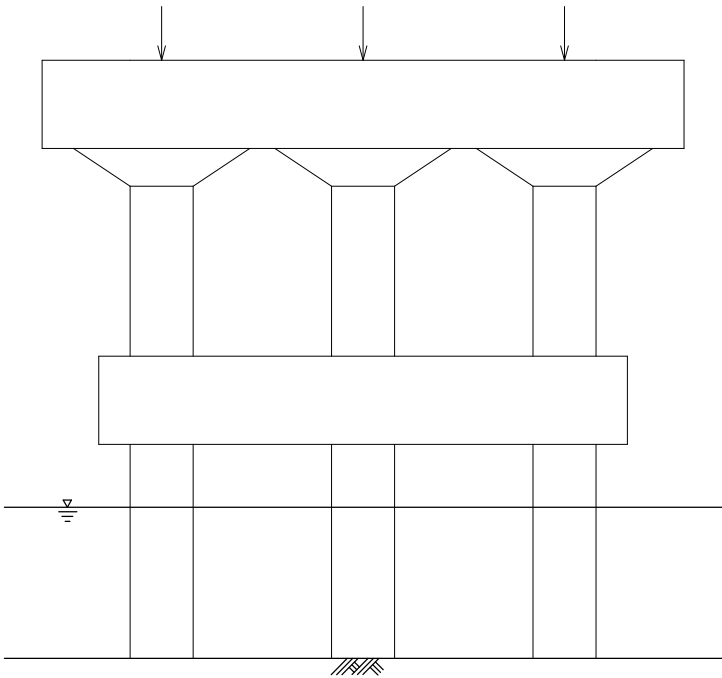
断面修復工

P1橋脚

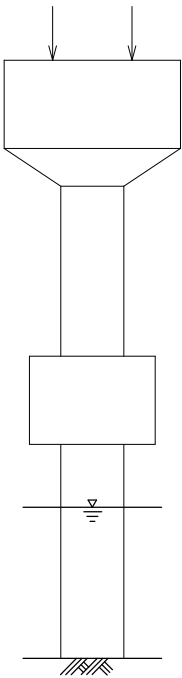
上流側



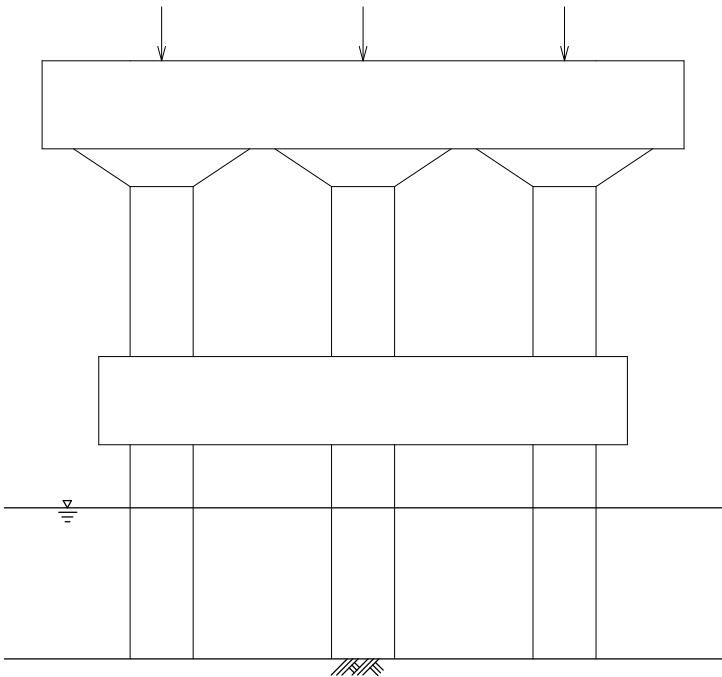
起点側



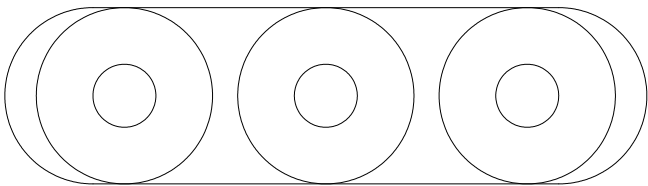
下流側



終点側



梁部下面



凡 例

補修工法		
D		断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00		補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 断面修復によるはつり後に鉄筋露出した場合は、ケレン・防錆処理を行うこと。



A1→A3に縮小印刷

工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図(その 8)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	11 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

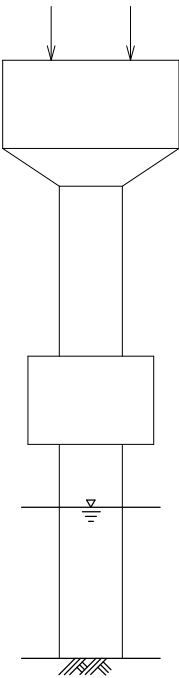
補修図（その 9）

S=1:30

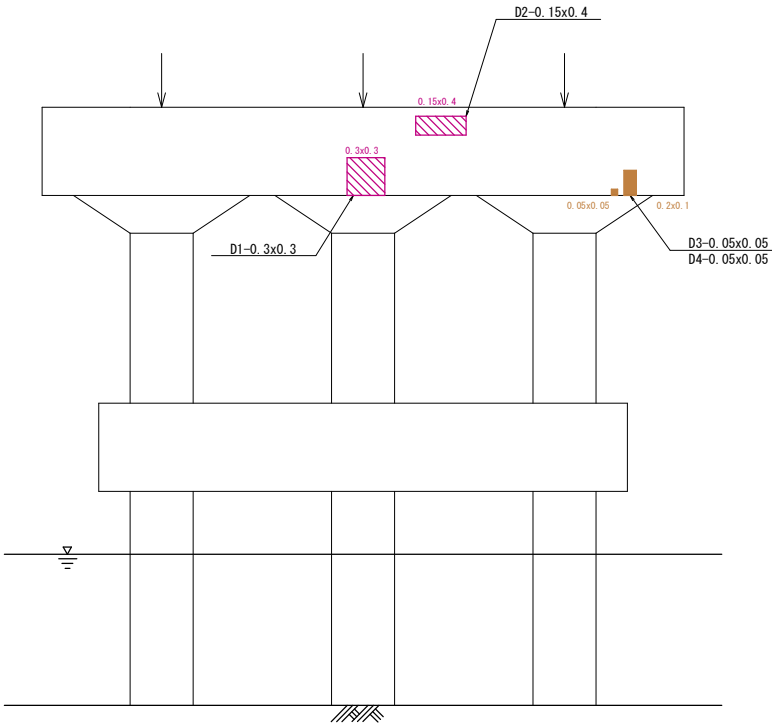
断面修復工

P2橋脚

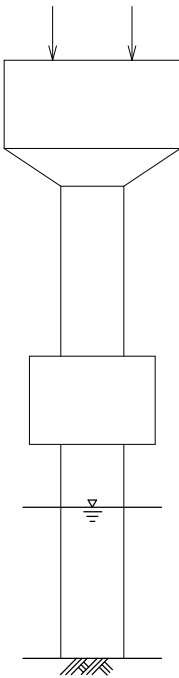
上流側



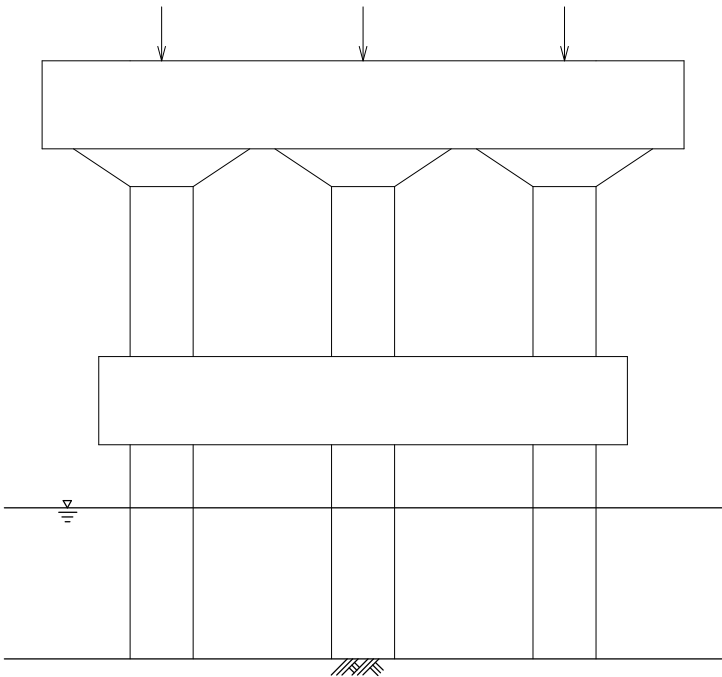
起点側



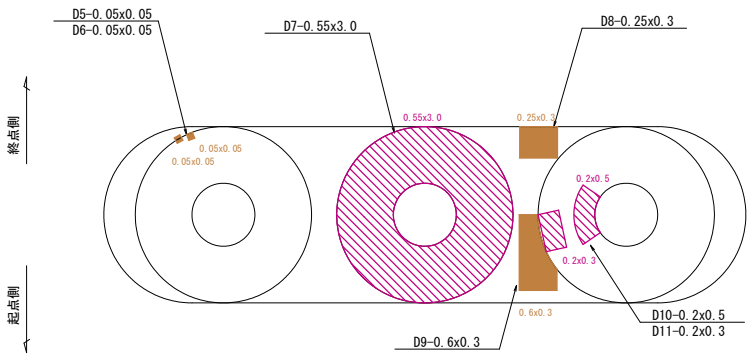
下流側



終点側



梁部下面



凡 例

補修工法	
D	断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 断面修復によるはつり後に鉄筋露出した場合は、ケレン・防錆処理を行うこと。



A1→A3に縮小印刷

工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図(その9)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	12 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その 1 0）

S=1:20

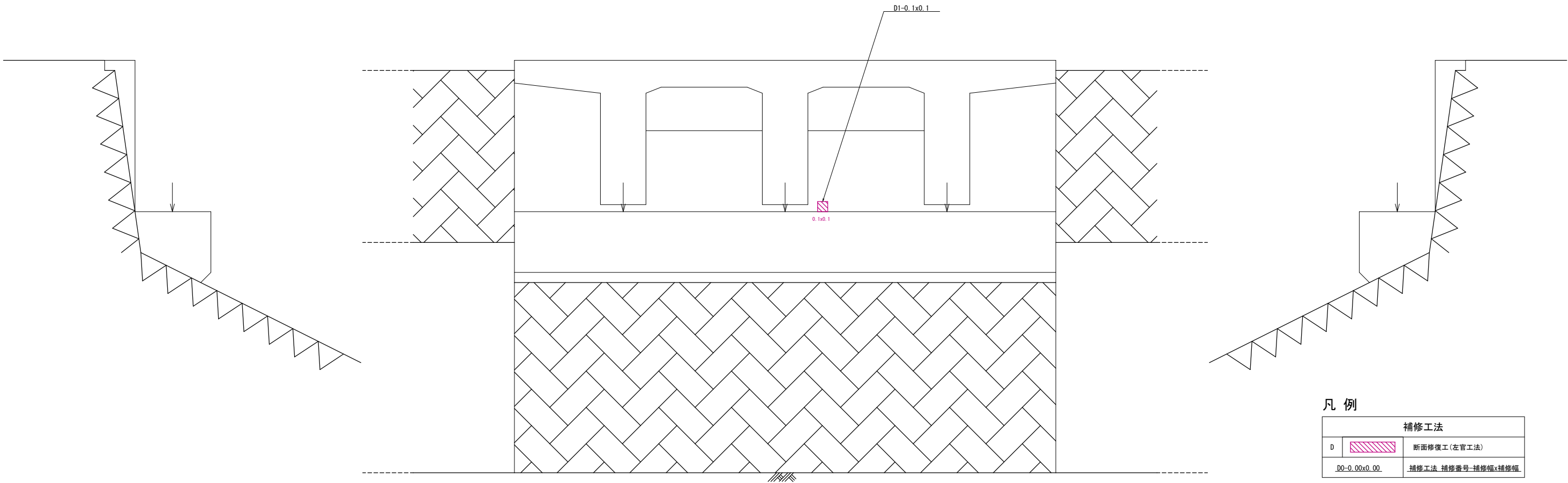
断面修復工

A2橋台

上流側

正面

下流側



凡 例

補修工法		
D		断面修復工(左宮工法)
D0-0.00x0.00		.補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 断面修復によるはつり後に鉄筋露出した場合は、ケレン・防錆処理を行うこと。



A1→A3に縮小印刷

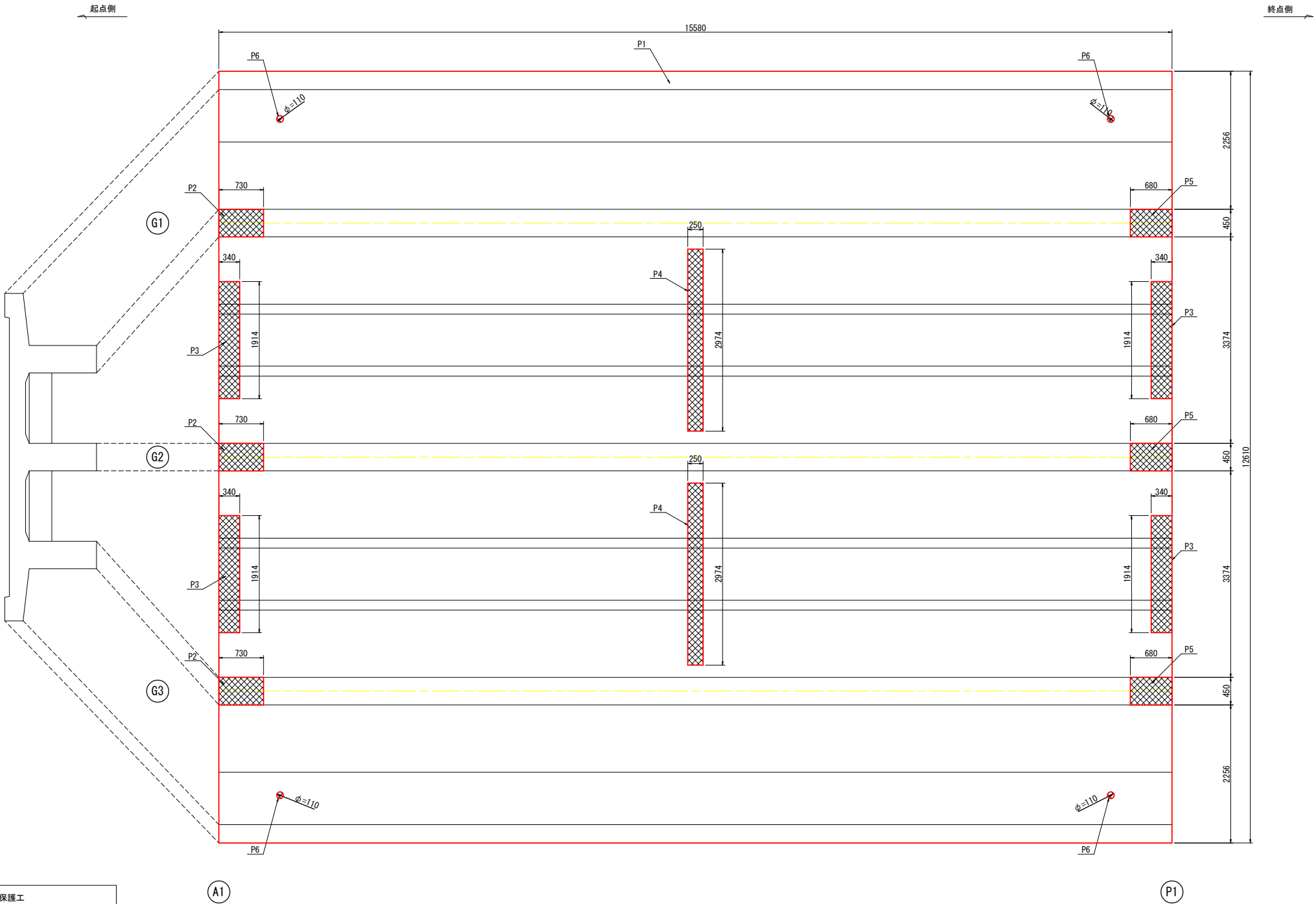
工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図(その10)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	13 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その 1 1）

表面保護工

桁下面 1径間

S=1:40



凡 例

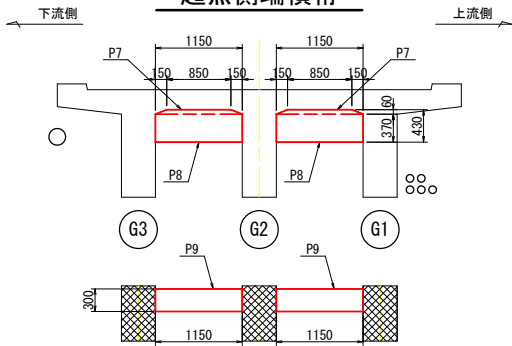
P		表面保護工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 表面含浸材は高分子系浸透性防水材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25kg/㎡以上とすること。
- ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 土砂堆積、雑生等がある場合は、撤去を行うこと。

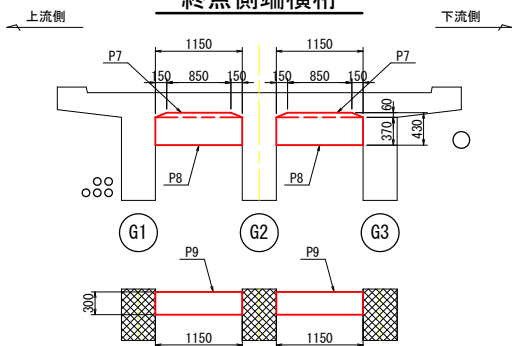
横桁

S=1:50

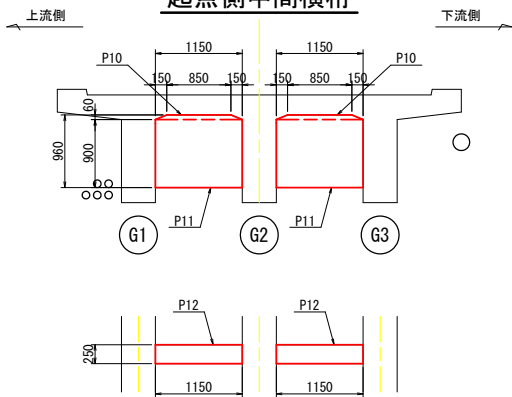
起点側端横桁



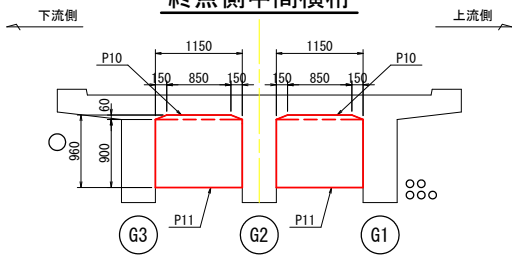
終点側端横桁



起点側中間横桁



終点側中間横桁



A1→A3に縮小印刷

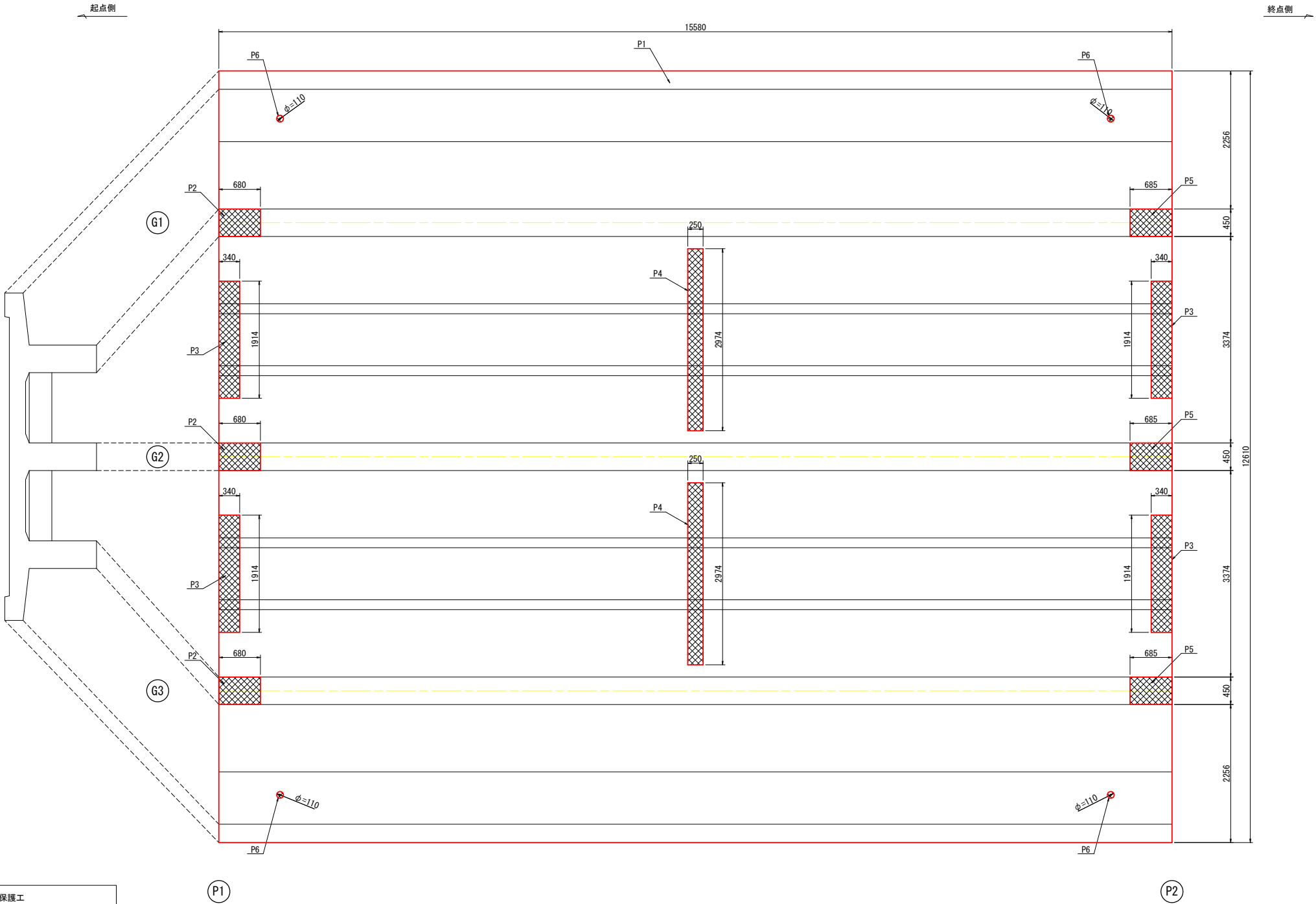
工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図（その 1 1）		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	14 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図(その 1 2)

S=1:40

表面保護工

桁下面 2径間



凡 例

P		表面保護工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

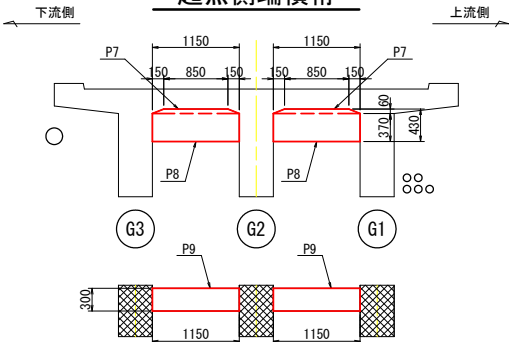
- ※ 表面含浸材は高分子系浸透性防水材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25kg/㎡以上とすること。
- ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。

高麗川

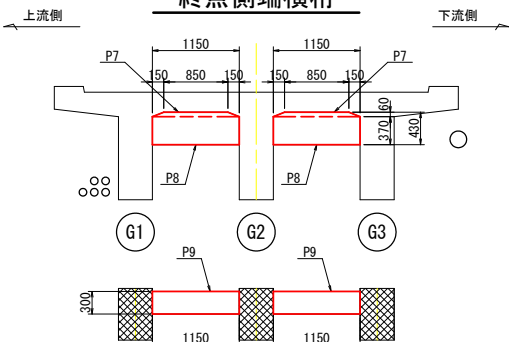
横桁

S=1:50

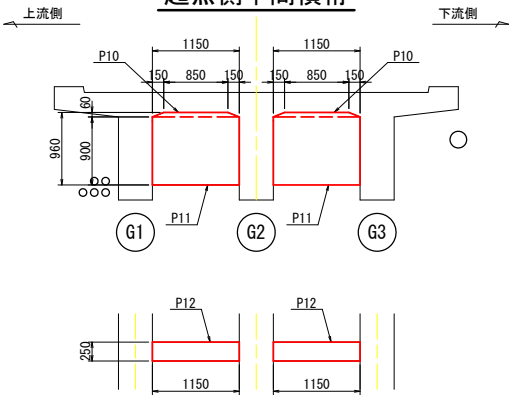
起点側端横桁



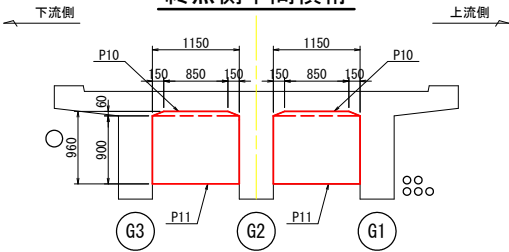
終点側端横桁



起点側中間横桁



終点側中間横桁



A1→A3に縮小印刷

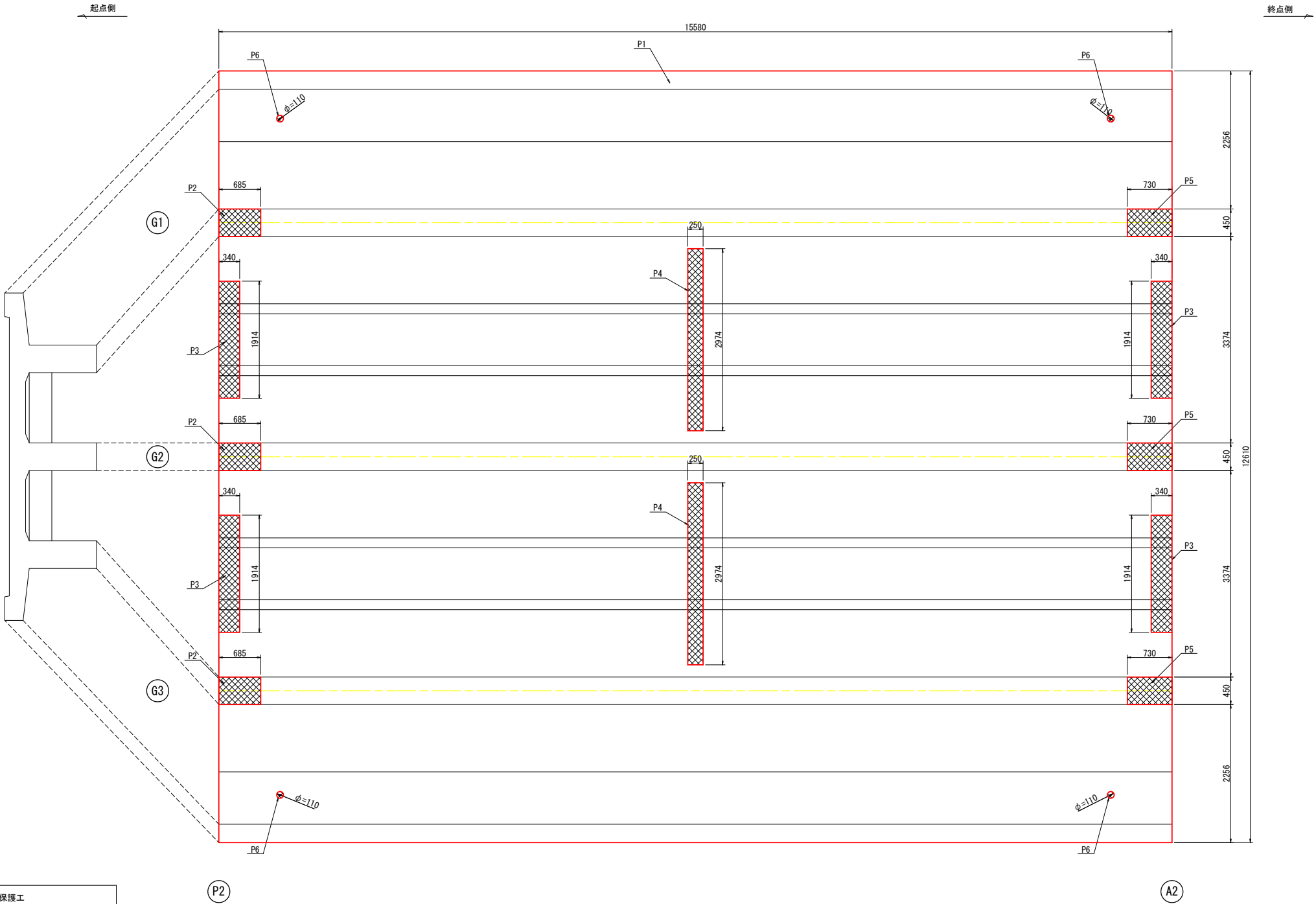
工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図(その 1 2)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	15 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図(その 1 3)

S=1:40

表面保護工

桁下面 3径間



高麗川

凡 例

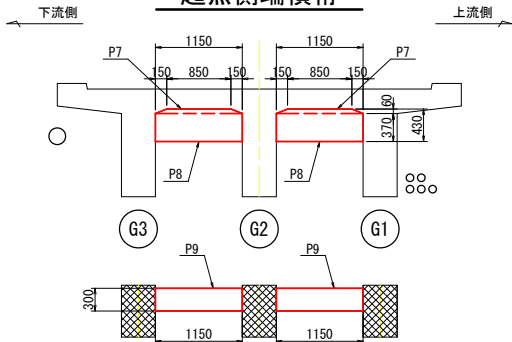
P		表面保護工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 表面含浸材は高分子系浸透性防水材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25kg/m²以上とすること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。

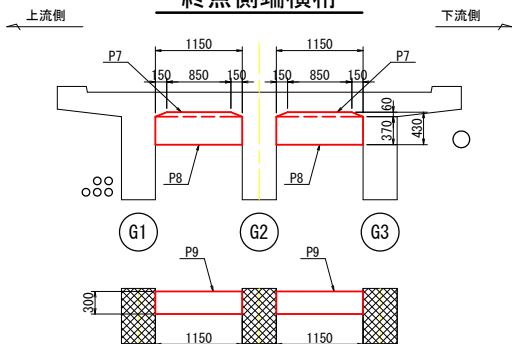
横桁

S=1:50

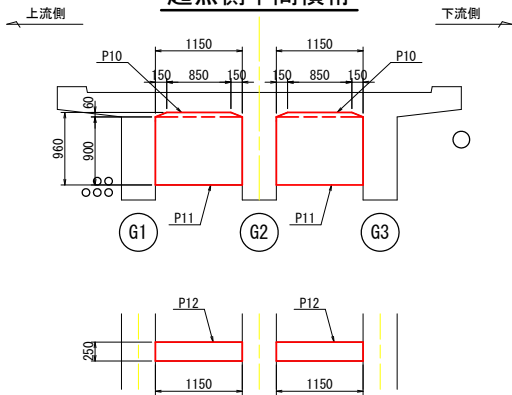
起点側端横桁



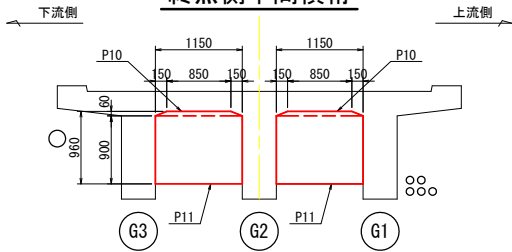
終点側端横桁



起点側中間横桁



終点側中間横桁



A1→A3に縮小印刷

工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図(その 1 3)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	16 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

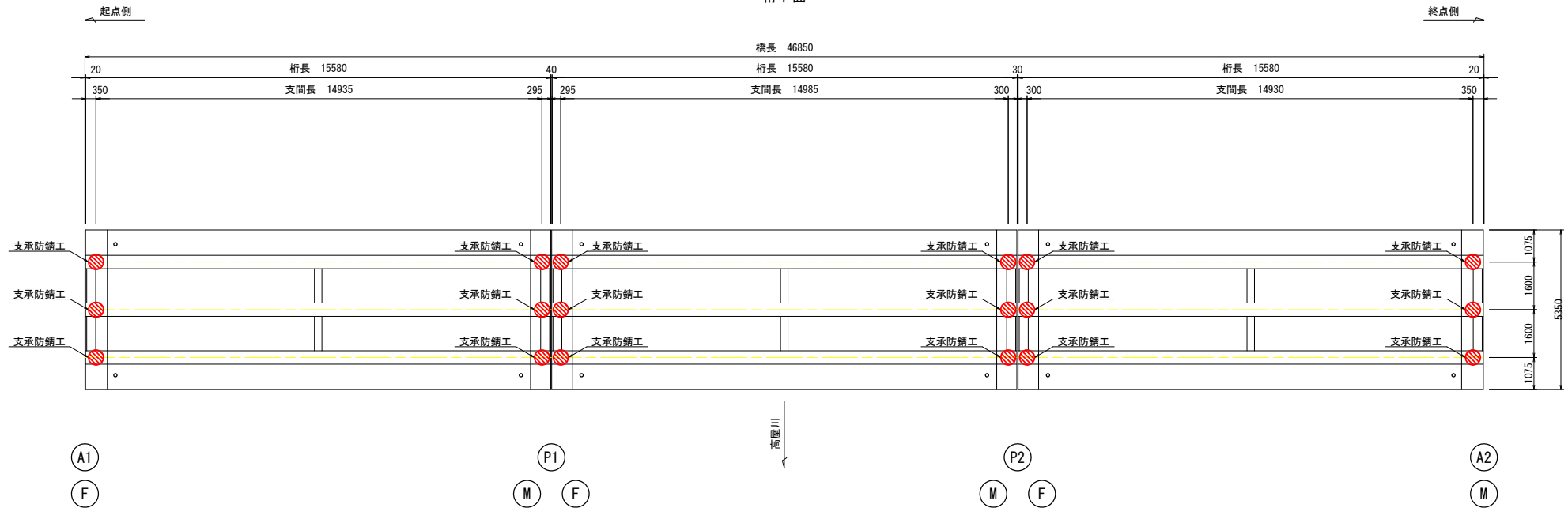
補修図(その14)

支承防錆工

位置図

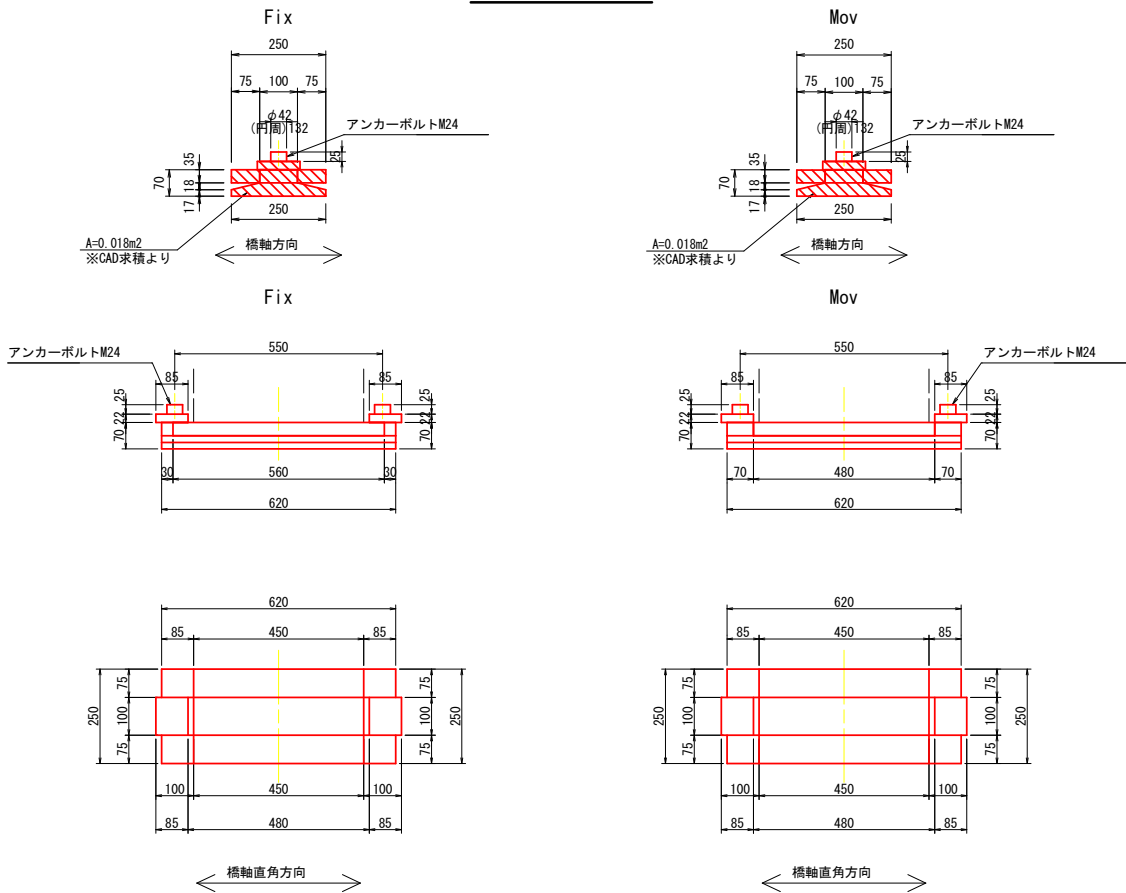
S=1:100

桁下面

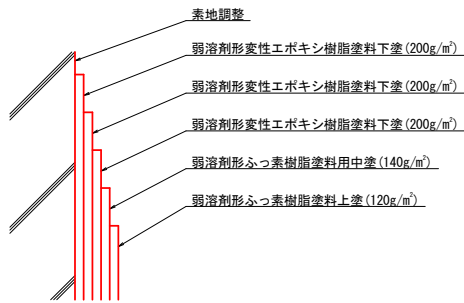


支承詳細図

S=1:10



施工要領図



塗装仕様: Rc-Ⅲ塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m²)	塗装間隔
素地調整	3 種		4時間以内
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (鋼板露出部のみ)	(200)	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	140	1日～10日
上 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗	120	1日～10日

- ※ 塗装塗替え対象は全ての鋼部材(全面塗替え)とする。
- ※ 素地調整の種類は3種ケレンAを想定。
- ※ 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
- ※ 塗装面のケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下、湿度85RH%以上では施工しないこと。
- ※ 塗布量は標準使用量以上とすること。
- ※ 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
- ※ 材料は可使時間内に塗布を行い、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

A1→A3に縮小印刷

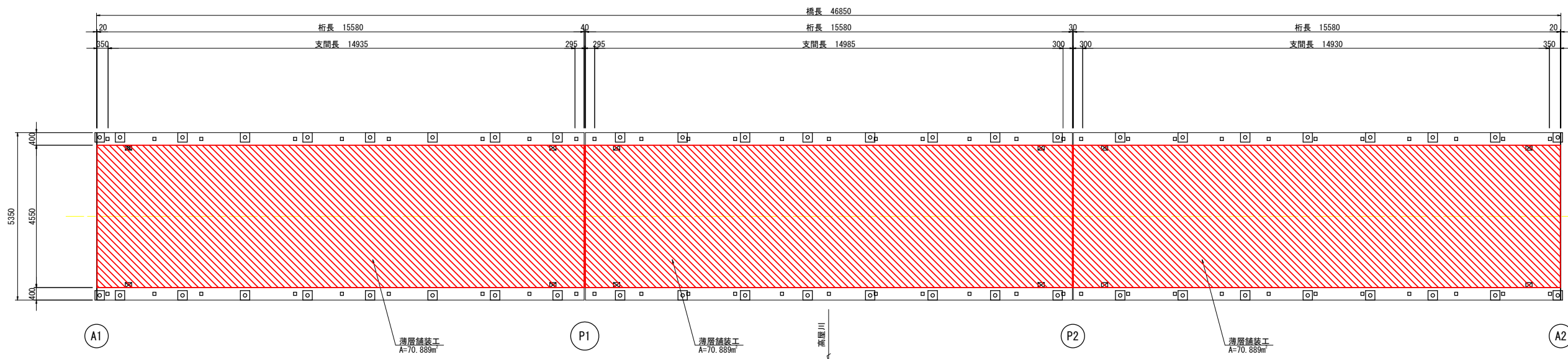
工事名	橋梁修繕工事(倉本橋)		
図面名	補修図(その14)		
作成年月日	令和8年6月		
縮尺	図示	図面番号	17 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図(その 1 5)

橋面防水工
(薄層舗装工)

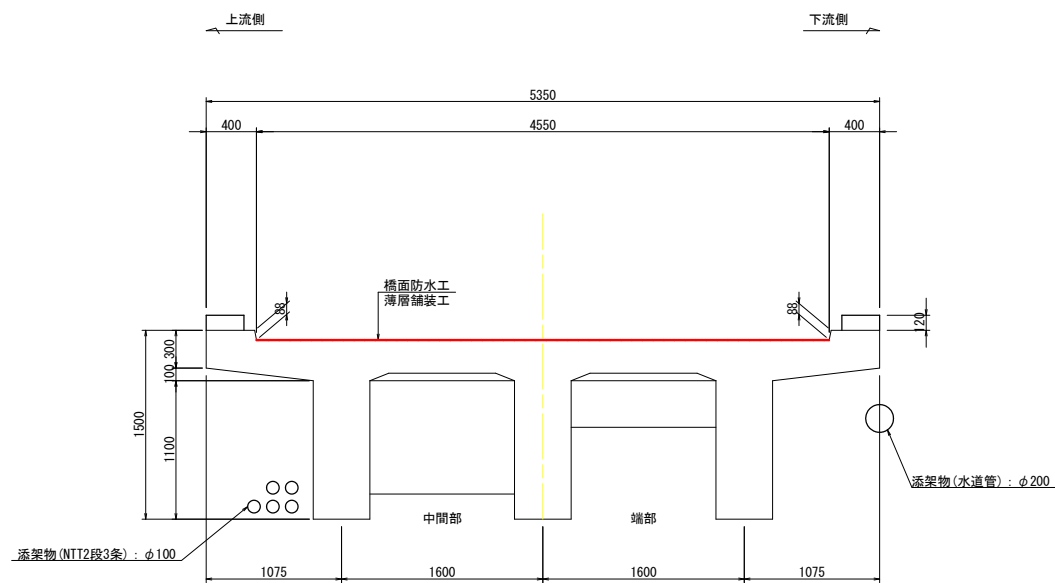
平面図
橋 面

S=1:75

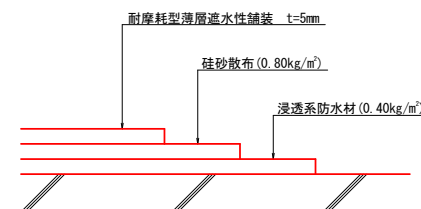


断面図

S=1:30



施工要領図



※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱着がある場合は、復旧を行うこと。

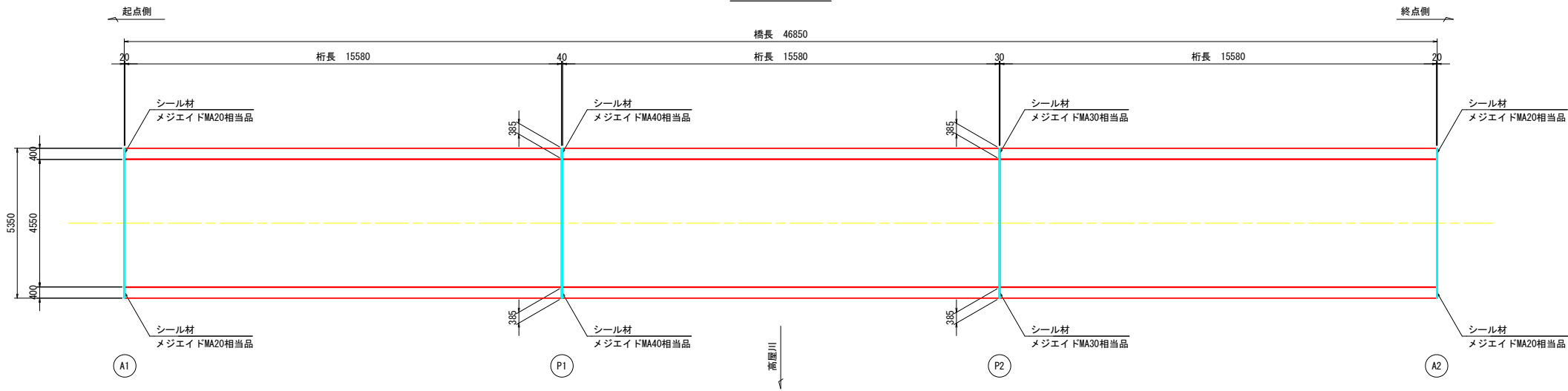
A1→A3に縮小印刷

工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図(その 1 5)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	18 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

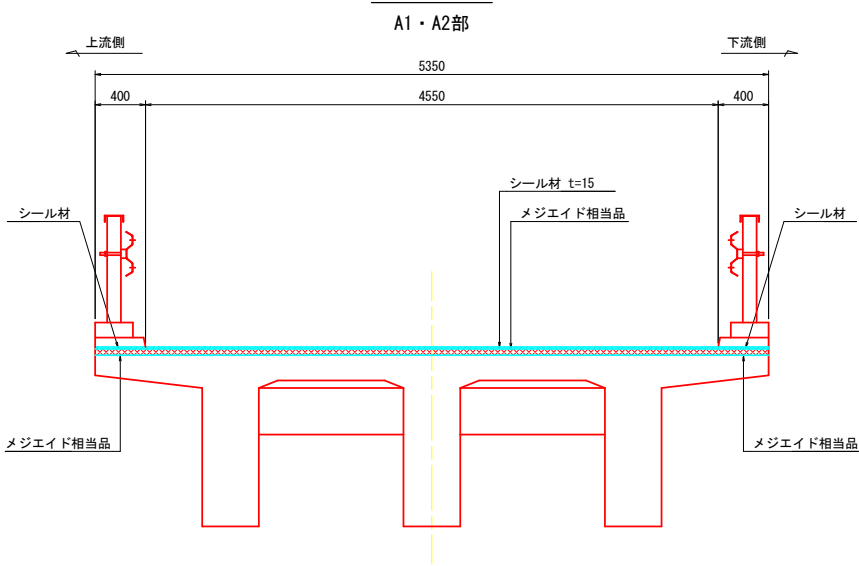
補修図(その16)

伸縮装置補修工
(目地処理工)

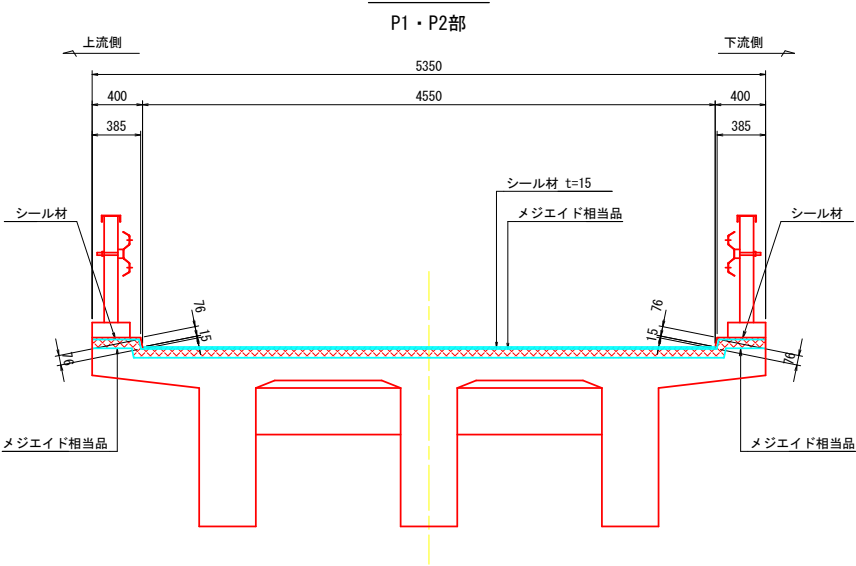
平面図 S=1:100



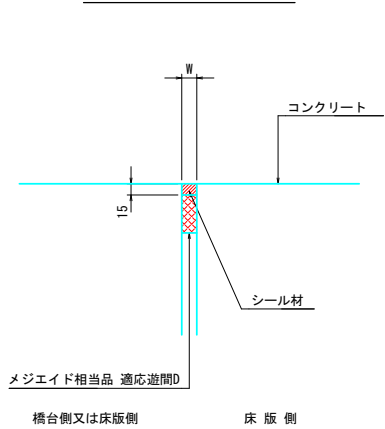
断面図 S=1:30



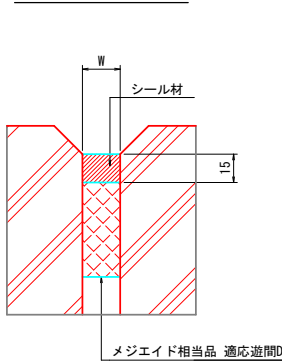
断面図 S=1:30



遊間処理断面図 S=1:5



地覆部断面図 S=1:2



寸法表

	W	D
A1部	20	20mm用
P1部	40	40mm用
P2部	30	30mm用
A2部	20	20mm用

寸法表

	W	D
A1部	20	20mm用
P1部	40	40mm用
P2部	30	30mm用
A2部	20	20mm用

注1) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
注2) 既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。

目地処理工(伸縮部目地材充填)数量表

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
施 工 延 長	-	m	21.644	
下地処理		m	21.644	
シ ー ル 材	シ リ コ ン 系	L	7.5	伸縮部
		L	1.4	地覆部
止 水 材	メジエイドMA20相当品 (適応遊間20mm用)	m	9.100	A1・A2伸縮部
		m	1.600	A1・A2地覆部
	メジエイドMA40相当品 (適応遊間40mm用)	m	4.550	P1伸縮部
		m	0.922	P1地覆部
	メジエイドMA30相当品 (適応遊間30mm用)	m	4.550	P2伸縮部
		m	0.922	P2地覆部

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

A1→A3に縮小印刷

工事名	橋梁修繕工事 (倉本橋)		
図面名	補修図(その16)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	19 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

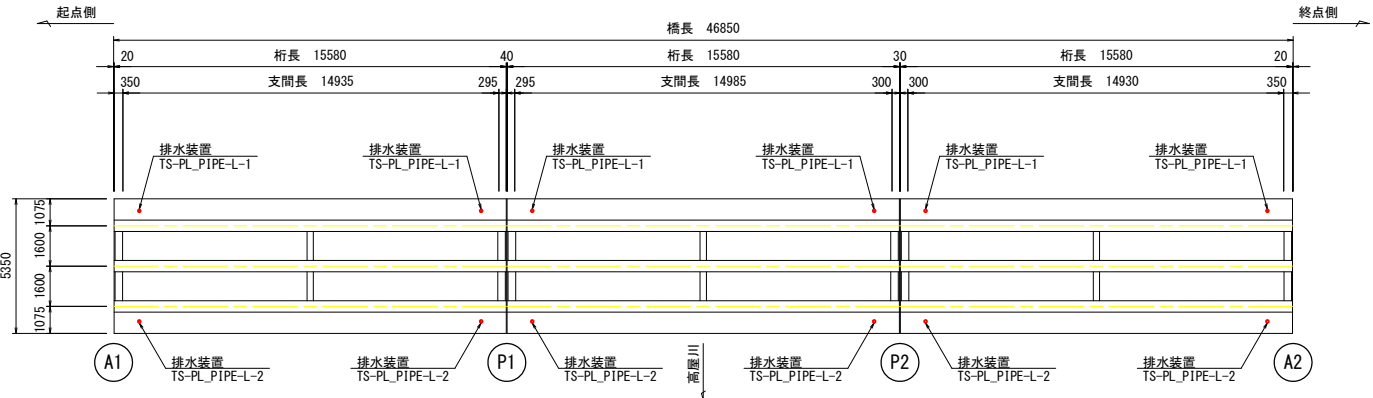


補修図(その 1 7)

排水装置補修工

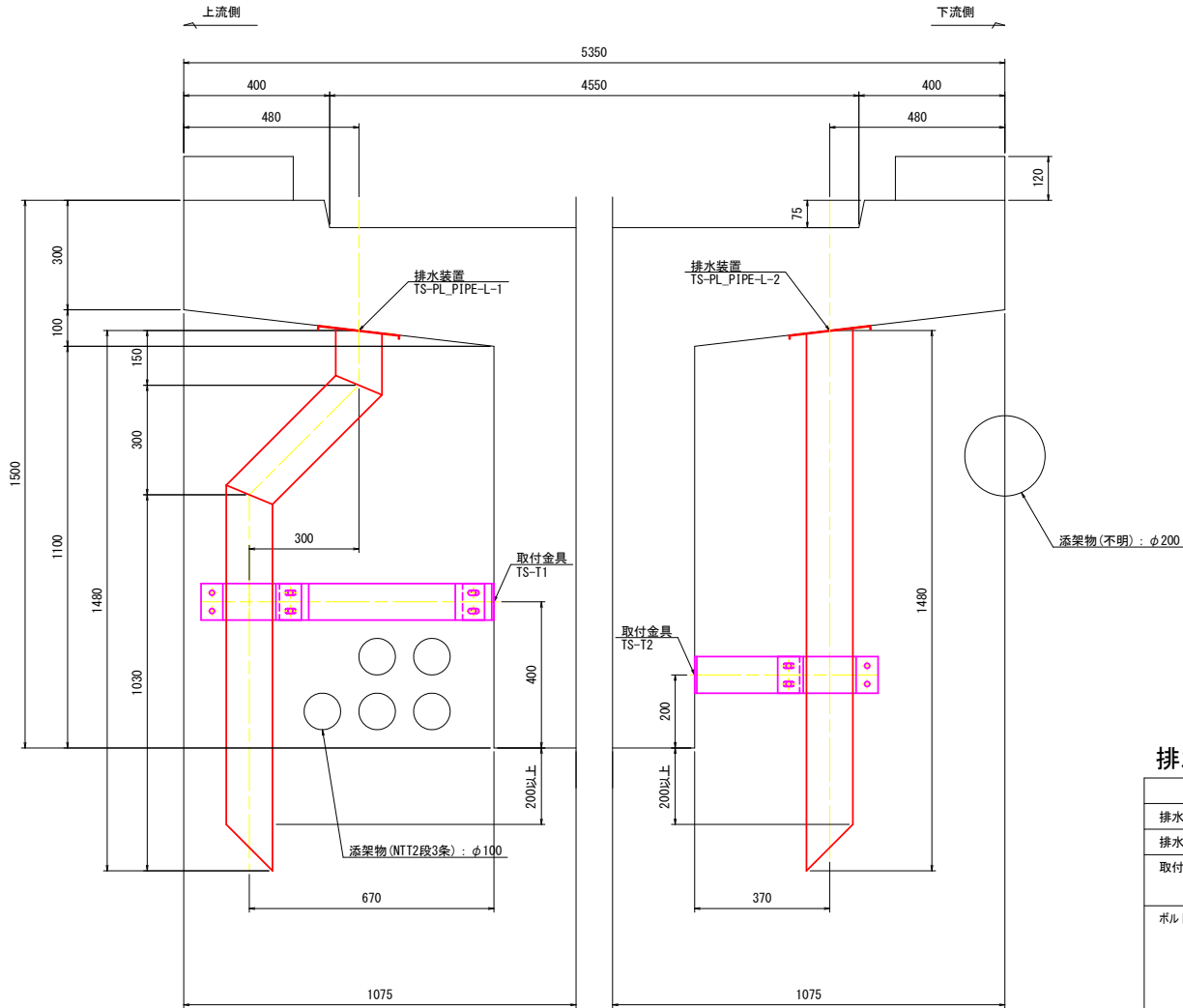
位置図

S=1:150



断面図

S=1:10

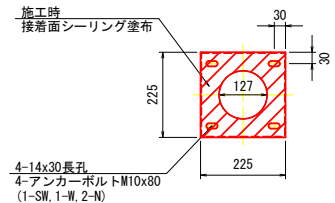


天板プレート一体型排水装置

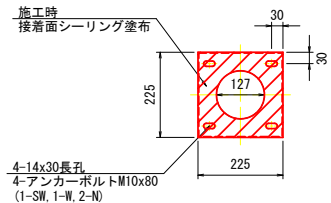
S=1:10

TS-PL_PIPE-L
NETIS No. CB-190003-AIに準ずる

TS-PL_PIPE-L-1
製作数=6



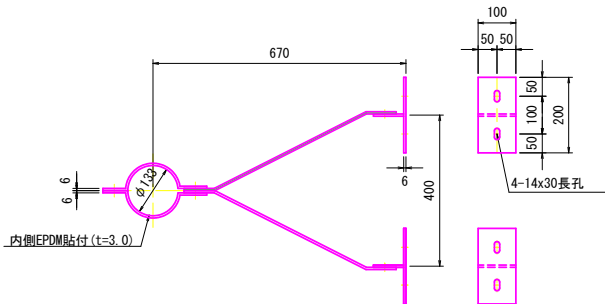
TS-PL_PIPE-L-2
製作数=6



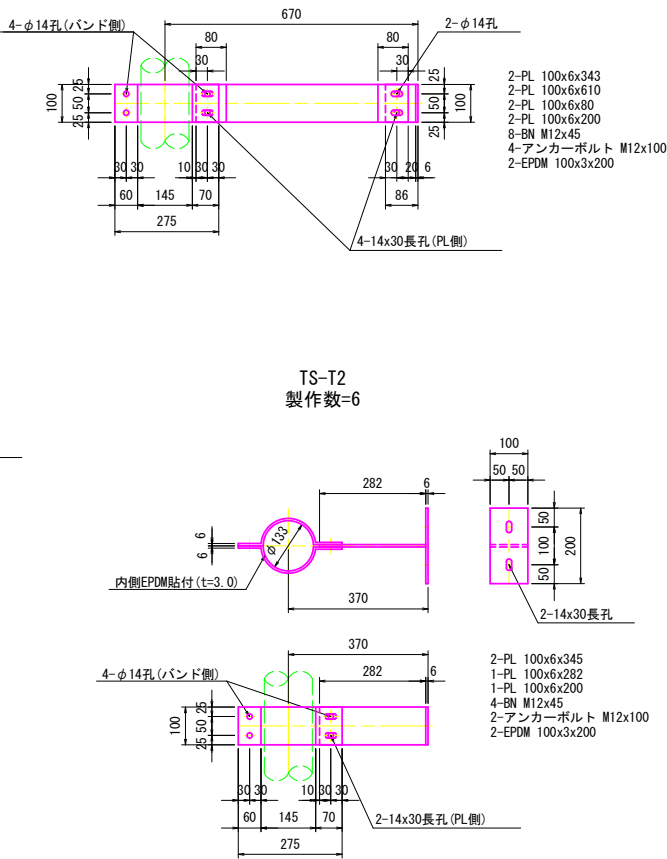
取付金具詳細図

S=1:10

TS-T1
製作数=6



TS-T2
製作数=6



排水装置設置工 (SUS製) 数量表

名 称		規 格	単 位	数 量	備 考
排水装置		天板プレート一体型排水装置	基	12	
排水管流心延長			m	18.504	
取付金具		SUS304 TS-T1	組	6	
		SUS304 TS-T2	組	6	
ボルト・ナット		Bolt SUS304 M12x45	本	48	
		Nut SUS304 M10 (1種)	個	96	
		Nut SUS304 M12 (1種)	個	48	
		Spring Washer SUS304 M10	個	48	
		Washer SUS304 M10	個	48	
コンクリートアンカーボルト設置工		打込み式あと施工アンカー M10	本	48	
		打込み式あと施工アンカー M12	本	24	
EPDM	W3xH100xL200		m	2.400	

- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 特記なき材質はすべてSUS304とする。
- ※ 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
- ※ 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No. CB-190003-AIに準ずる。
- ※ t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し、耐食性向上の措置を講じる。

A1→A3に縮小印刷

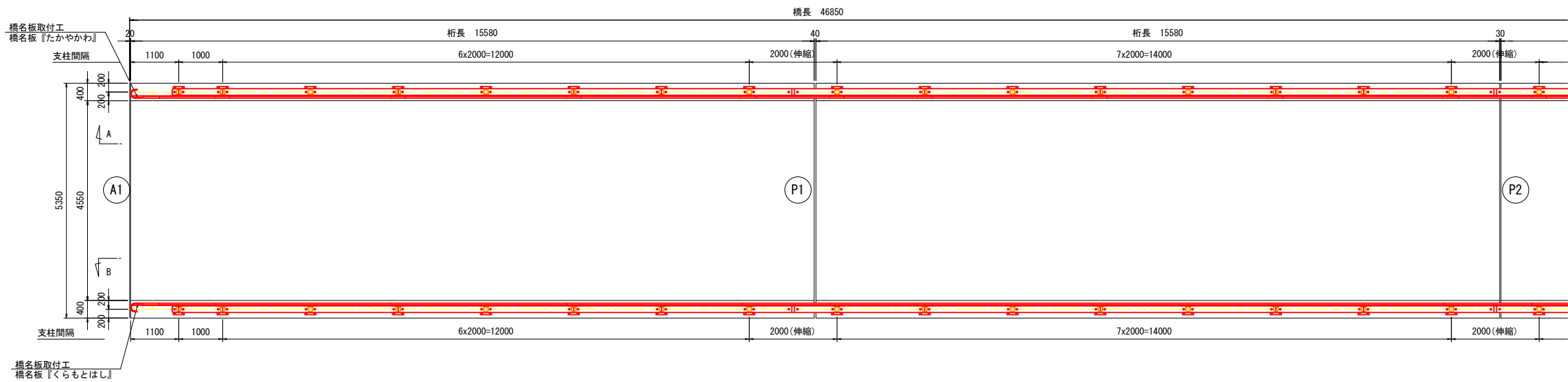
工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	補修図(その17)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	20 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図(その18)

防護柵設置工

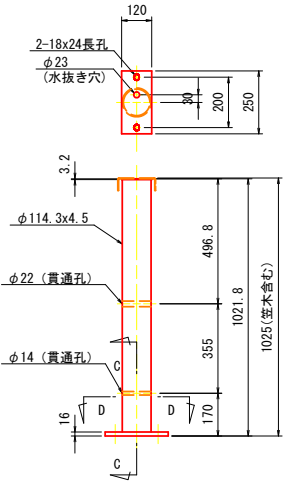
平面図

S=1:60

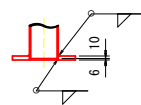


支柱

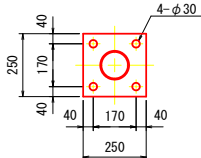
S=1:15



C-C 断面図

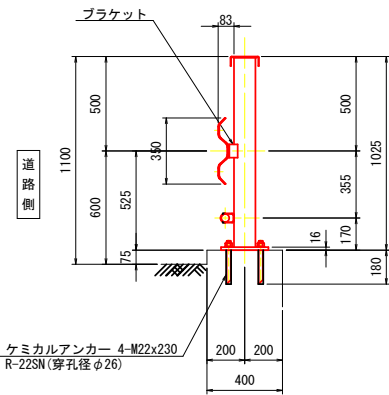


D-D 断面図



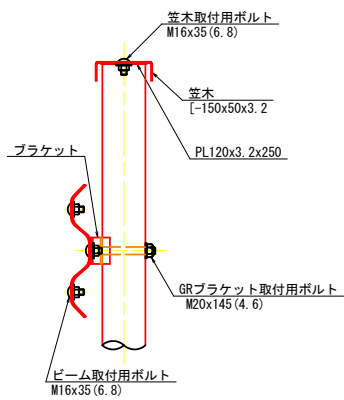
断面図

S=1:20



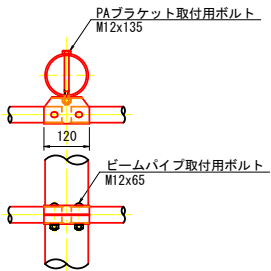
取付詳細図

S=1:10



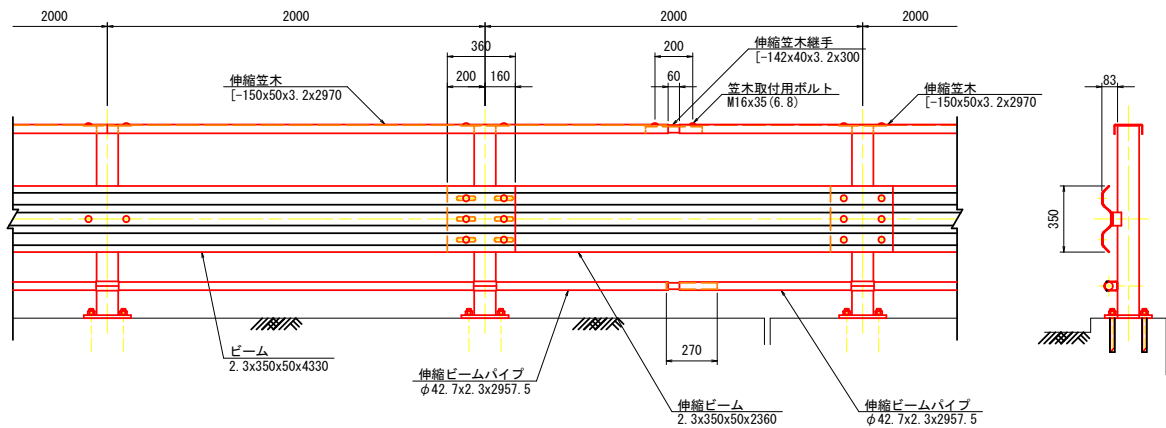
ボームパイプ取付詳細図

S=1:10



伸縮部詳細図

S=1:20



※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

A1→A3に縮小印刷

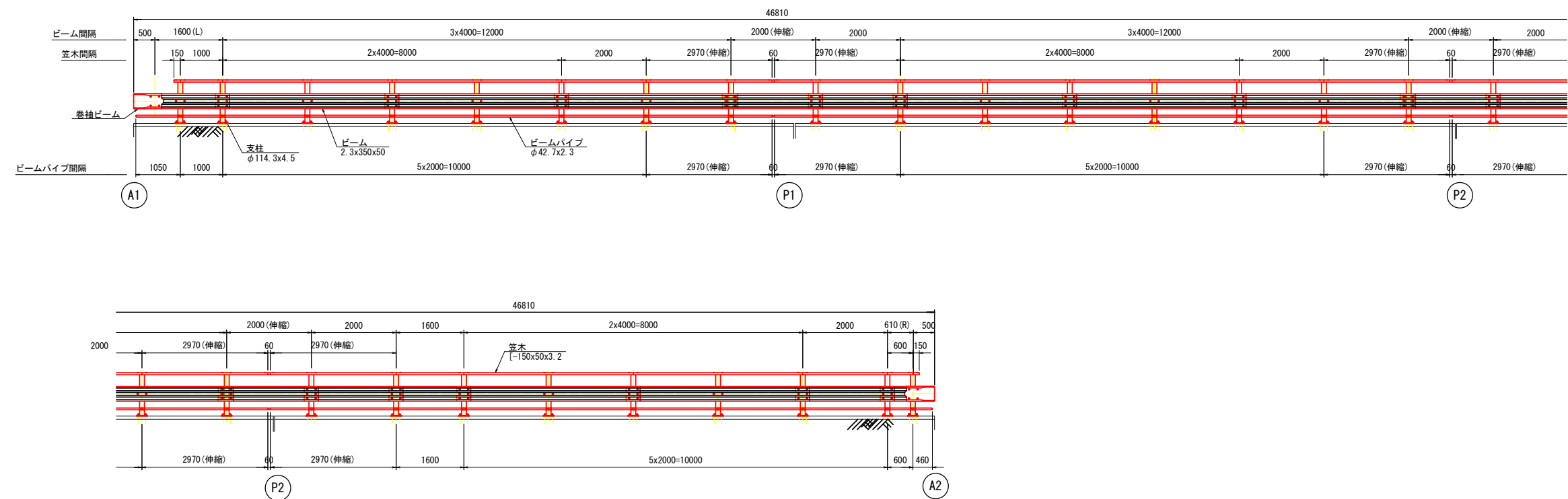
工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	防護柵詳細図(その1)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	21 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		



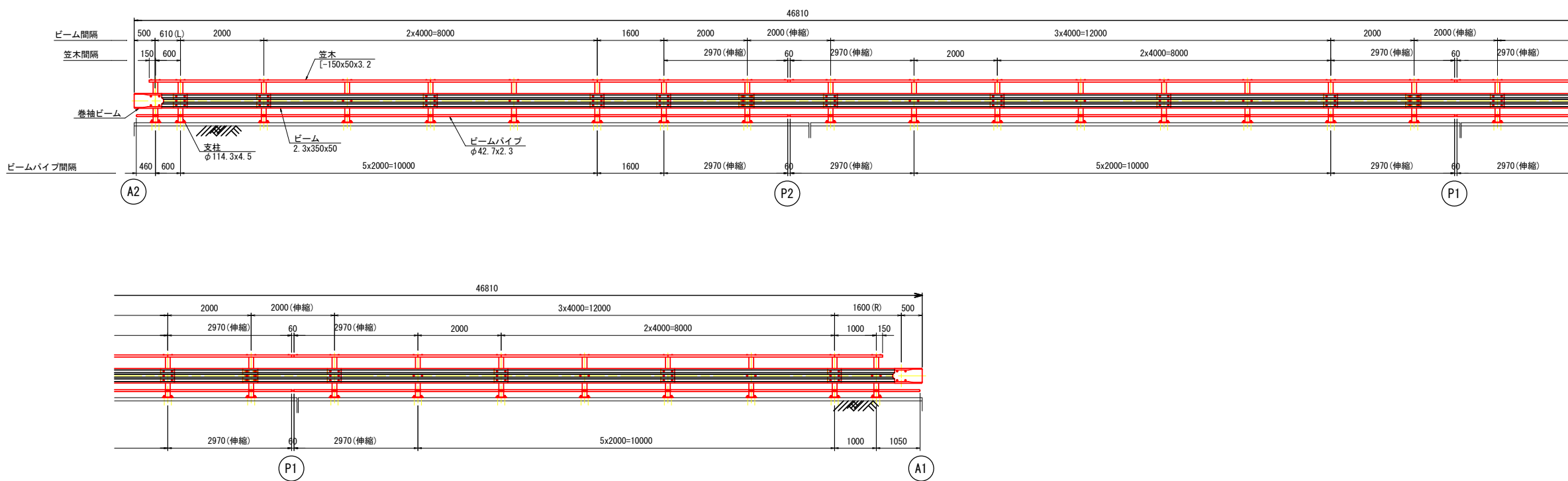
補修図(その 1 9)

防護柵設置工

A-A 矢視図 S=1:60



B-B 矢視図 S=1:60



A1→A3に縮小印刷



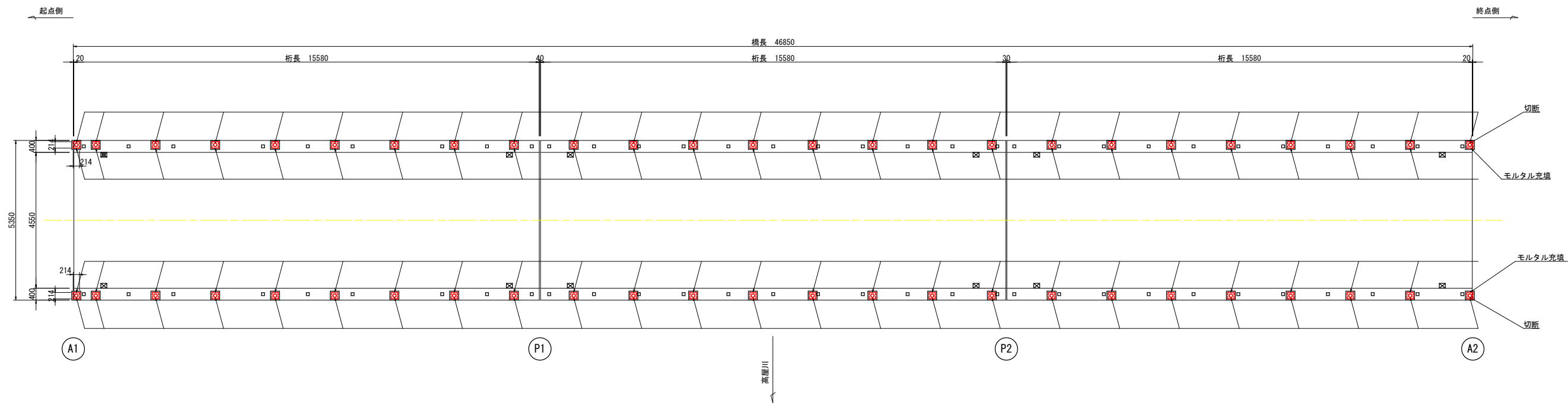
工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	防護柵詳細図(その2)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	22 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図(その20)

防護柵撤去工

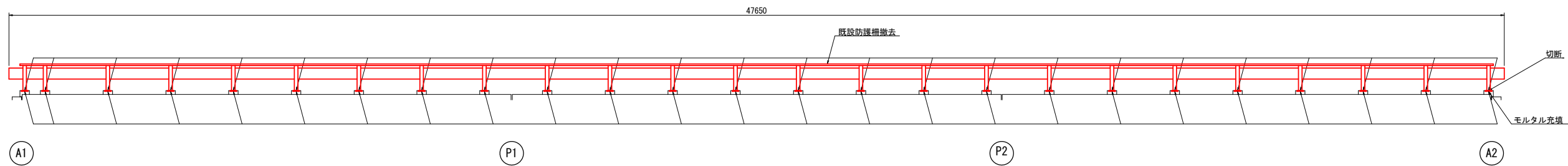
防護柵撤去平面図

S=1:75



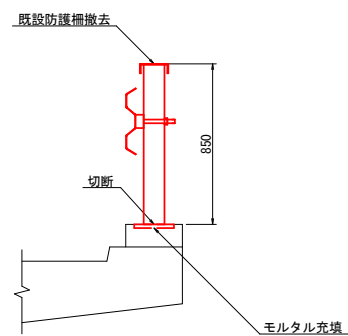
防護柵撤去側面図

S=1:75



防護柵撤去断面図

S=1:20



A1→A3に縮小印刷

工事名	橋梁修繕工事（倉本橋）		
図面名	防護柵詳細図(その3)		
作成年月日	令和 8 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	23 / 23
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		



参 考 图 书

施工単価表

頁0 -0012

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長140m

S1020037

単第0 -0001 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	8.120	人			
特殊作業員	13.440	人			
普通作業員	9.940	人			
ひび割れ補修材 可とう性注入用エポキシ樹脂 3kg/セット ボンドE2420相当品	7.819	kg			
ひび割れ補修材 エポキシ樹脂系パテ状シール材 6kgセット ボンドE390相当品	48.997	kg			
ひび割れ補修材 注入器具 低圧注入器具相当品	561.000	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=140 1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) C=7.819 注入材の必要数量(kg/構造物) E=35.764 シール材の設計数量(kg/構造物) G=561 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)			B=11 【F】注入材(kg) D=12 【F】シール材(kg) F=13 【F】低圧注入器具(個)		

施工単価表

頁0 -0013

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積2.295m3

単第0 -0002 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	64.260	人			
特殊作業員	121.635	人			
普通作業員	64.260	人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用(コテ塗り)	2.708	m3			
諸雑費	8	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=2.295 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=2.295 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=14 【F】断面修復材(m3)		

施工単価表

頁0 -0014

表面被覆工
被覆材塗布

V0001

單第0 -0003 表

高分子系浸透性防水材(アイゾールEX相当品)

m2

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

塗替塗装
清掃・水洗い

SDT00029

單第0 -0004 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

塗替塗装
素地調整

SDT00029

單第0 -0005 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0006 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

單第0 -0007 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

塗替塗装
上塗り塗装

SDT00029

單第0 -0008 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

橋面防水工
路面洗淨工

V0009
耐摩耗性型複合薄層遮水性舗装に伴う

單第0 -0009 表

100

m2 当り

[illegible]

施工単価表

橋面防水工
耐摩耗性型複合薄層遮水性舗装

V0002
スーパーロメンパッチDN工法相当

単第0 -0010 表

212.7 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.59	人			
特殊作業員	5.18	人			
普通作業員	7.77	人			
特殊乳剤・骨材 スーパーロメンパッチ	567.20	組			
アクリル系浸透系防水材 HQプライマー	89.33	kg			
珪砂 5号珪砂	178.67	kg			
諸雑費	7	%			#09 材料費の7%
*** 合計 ***	212.7	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0022

目地処理工
簡易補修 遊間20mm

V0003

単第0 -0011 表

高機能止水材 メジエイドMA20相当品

10

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
高機能止水材 メジエイドMA20相当品	10.0	m			
シール材 シリコン系 プライマー含む	3.3	L			
雑品	5	%			#01 材料費の5%
<賃>ハンドカッタ モータ式, ブレード別	1.0	日			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量5kVA 低騒音	1.0	日			
電動ブレーカー ピックハンマ質量7.2kg	1.0	台			
<賃>ダンプトラック 積載質量2t	1.0	日			
セーバーソー	1.0	台			
諸雑費	10	%			#09 労務費と機械損料の10%

施工単価表

頁0 -0023

目地処理工
簡易補修 遊間20mm

V0003

單第0 -0011 表

高機能止水材 メジエイドMA20相当品

10

m

当日

[illegible]

施工単価表

目地処理工

V0004

単第0 -0012 表

簡易補修 遊間30mm

高機能止水材 メジエイドMA30相当品

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	2.0	人			
高機能止水材 メジエイドMA30相当品	5.5	m			
シール材 シリコン系 プライマー含む	2.72	L			
雑品	5	%			#01 材料費の5%
<賃>ハンドカッタ モータ式, ブレード別	1.0	日			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量5kVA 低騒音	1.0	日			
電動ブレーカー ピックハンマ質量7.2kg	1.0	台			
<賃>ダンプトラック 積載質量2t	1.0	日			
セーバーソー	1.0	台			
諸雑費	10	%			#09 労務費と機械損料の10%

施工単価表

頁0 -0025

目地処理工
簡易補修 遊間30mm

V0004

單第0 -0012 表

箇所 当り

高機能止水材 メジエイドMA30相当品

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

目地処理工

V0005

単第0 -0013 表

簡易補修 遊間40mm

高機能止水材 メジエイドMA40相当品

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	2.0	人			
高機能止水材 メジエイドMA40相当品	5.5	m			
シール材 シリコン系 プライマー含む	3.63	L			
雑品	5	%			#01 材料費の5%
<賃>ハンドカッタ モータ式, ブレード別	1.0	日			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量5kVA 低騒音	1.0	日			
電動ブレーカー ピックハンマ質量7.2kg	1.0	台			
<賃>ダンプトラック 積載質量2t	1.0	日			
セーバーソー	1.0	台			
諸雑費	10	%			#09 労務費と機械損料の10%

施工単価表

頁0 -0027

目地処理工
簡易補修 遊間40mm

V0005

單第0 -0013 表

箇所 当り

高機能止水材 メジエイドMA40相当品

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

排水装置設置工
TSステンレス排水装置

V0010

單第0 -0014 表

1 橋 当り

[illegible]

施工単価表

排水装置設置工
TSステンレス排水装置

上流側

V0007

単第0 -0015 表

6

基 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
TSステンレス排水管 TS-PL_PIPE-L-1相当品 SUS304 φ127 t=1.0mm 天板t=2.0mm	6.0	基			
取付金具 TS-T1相当品 SUS304 t=6.0mm	6.0	組			
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	3.1	人			
普通作業員	3.1	人			
諸雑費	5	%			#09 労務費の5%
*** 合計 ***	6	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施工単価表

排水装置設置工
TSステンレス排水装置

下流側

V0008

単第0 -0016 表

6

基 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
TSステンレス排水管 TS-PL_PIPE-L-2相当品 SUS304 φ127 t=1.0mm 天板t=2.0mm	6.0	基			
取付金具 TS-T2 SUS304 t=6.0mm	6.0	組			
土木一般世話役	1.7	人			
特殊作業員	2.8	人			
普通作業員	2.8	人			
諸雑費	5	%			#09 労務費の5%
*** 合計 ***	6	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施工単価表

頁0 -0031

防護柵設置工

V0006

単第0 -0017 表

ベースプレート式 笠木付 支柱H1025

Gr-C-2B-4-BPL PY-F1(トク)相当品

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵設置工 ベースプレート式 笠木付 支柱H1025 Gr-C-2B-BPL PY-F1(トク)相当品	93.6	m			単第0-0018 表
アンカー設置工 R-22SN相当品	200.0	箇所			単第0-0019 表
ガードレール ベースプレート 笠木付 支柱H1025 Gr-C-2B-BPL PY-F1(トク)相当品	93.6	m			
伸縮部加工費	4	箇所			
アンカー M22×230(N,W)	200	組			
樹脂カプセル R-22SN相当品	200	本			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	橋			

施工単価表

頁0 -0032

防護柵設置工

ベースプレート式 笠木付 支柱H1025

V0011

Gr-C-2B-BPL PY-F1(トク)相当品

單第0 -0018 表

35

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

アンカー設置工
R-22SN相当品

V0012

單第0 -0019 表

25

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

橋名板等取付

SPK25040297

単第0 -0020 表

橋名板 300×150×15

1 枚 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 8.39% 材料構成比: 91.61% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 47,162.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	8.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
橋名板 ブロンズ製,150×300×15 国土交通省タイプ	91.61%		銘板 300×200×13		TTPCH0045 TTPT00210
積算単価			積算単価		EP001
A=1 橋名板 300×150×15					

施工単価表

頁0 -0035

防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去
コンクリート建込

SS000127

單第0 -0021 表

Ap, Bp, Cp(支柱間隔2m)

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

単第0 -0022 表
1
標準単価: 3,054.40000

m3 当り
3,054.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t積2.9t吊
機械構成比: 13.79% 労務構成比: 83.40% 材料構成比: 2.81% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411
片道運搬距離6.0km以下(4.0km超)

単第0 -0023 表
標準単価: 1 t 当り
2,949.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=6 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離6.0km以下(4.0km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0038

足場工(床版補強工)

S3030011

單第0 -0024 表

桁高1.5m未満

床面の板張防護含む

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

足場工（朝顔）（床版補強工）
両側朝顔

S3030013

單第0 -0025 表

1 m 2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0026 表

朝顔部 板張防護工

西側朝顔

$$\underline{m^2}$$

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0027 表

朝顔部 シート張防護工

両側朝顔

m 2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

シート張防護工
両面朝顔

S3070083

單第0 -0028 表

m2 当り

[illegible]

数量計算書

1. 数量総括表

橋梁名： 倉本橋							
レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
橋梁保全工事	構造物補修工	ひびわれ補修工	ひびわれ注入工（低圧注入工法）	1構造物当り延べ延長	m	140.3	
			ひびわれ注入材	エポキシ樹脂系3種	kg	7.819	ロス率含む
			シール材	エポキシ樹脂系	kg	48.997	ロス率含む
			注入器	低圧注入器	個	561	設置間隔：250mm間隔
		断面修復工	左官工	1構造物当り修復延べ体積	m ³	2.295	
			（鉄筋ケレン・防錆処理を含む）	ポリマーセメントモルタル	m ³	2.708	ロス率含む
	表面保護工	表面被覆工	下地処理工	サンダーケレン	m ²	596.2	
			被覆材塗布工	高分子系浸透性防水材	m ²	596.2	
			被覆材	アイゾールEX相当品	kg	156.50	ロス率含む
	橋梁塗装工	塗替塗装工 Rc-Ⅲ塗装系	清掃・水洗い		m ²	3.4	
			素地調整	3種ケレンA	m ²	3.4	
			下地	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	m ²	3.4	
			下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	m ²	3.4	
			下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	m ²	3.4	
			中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m ²	3.4	
			上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	m ²	3.4	
	橋面防水工	薄層舗装工	下地処理工	路面洗浄	m ²	212.7	
			含浸材塗布工		m ²	212.7	
			含浸材	浸透系防水材	kg	89.33	標準使用量：0.40kg/m ²
			硅砂散布工		m ²	212.7	
			硅砂	5号硅砂	kg	178.67	標準使用量：0.80kg/m ²
			混合物敷設工		m ²	212.7	
			混合物	スーパーロメンパッチ相当品	組	567.20	
	橋梁付属物工	目地処理工	止水材	メジエイトMA20相当品（適応遊間20mm）遊間部清掃含む	m	10.7	
				メジエイトMA30相当品（適応遊間30mm）遊間部清掃含む	m	5.5	
				メジエイトMA40相当品（適応遊間40mm）遊間部清掃含む	m	5.5	
		防護柵設置工	橋梁用ビーム型防護柵	ベースプレート式 Gr-C-2B-BPL PY-F1（トク）相当品	m	93.6	
			アンカー	M22×230（N，W） R-22SN相当品	本	200	
			伸縮部加工費		箇所	4	
		橋名板取付工	橋名板	300×150×10	枚	4	
		排水装置補修工	排水装置		基	12	
			取付金具		組	12	
	構造物撤去工	防護柵撤去工	ガードレール	コンクリート建込	m	95.3	
		運搬処理工	殻運搬	Co殻（無筋） DID区間無し	m3	2.3	
			殻処分	Co殻（無筋）	t	5.4	
			現場発生品運搬		t	2.0	
			スクラップ	ヘビーH3	t	2.0	
	仮設工	仮設足場工	吊足場	桁高h<1.5	m ²	227.6	
			両側朝顔防護足場		m ²	227.6	
			板張・床面シート張防護		m ²	227.6	
			片側朝顔防護足場	タイプE シート及び板張防護含む 両側	m ²	175.5	
		交通管理工	交通誘導警備員B		人	56	

2. ひびわれ補修工

種別 部材	エポキシ樹脂 注入材3種 $0.2 \leq w < 0.5 \text{ mm}$	エポキシ樹脂 注入材3種 $1.0 \leq w \leq 5.0 \text{ mm}$
桁下面(第1径間)	49.50 m	— m
桁下面(第2径間)	33.75 m	— m
桁下面(第3径間)	56.00 m	0.80 m
地覆(第2径間)	0.20 m	— m
	— m	— m
	— m	— m
	— m	— m
	— m	— m
	— m	— m
合 計	139.45 m	0.80 m

2-1. ひびわれ注入工（低圧注入工法）

(1) ひびわれ延長

1) エポキシ樹脂注入材3種

・ $0.2 \leq w < 0.5$

$$L1 = 49.50 + 33.75 + 56.00 + 0.20 = 139.45 \text{ m}$$

・ $1.0 \leq w < 5.0$

$$L2 = 0.80 = 0.80 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 140.25 \text{ m}$$

(2) シール材（エポキシ樹脂系） ※ロス率は「土木工事標準積算基準書」を参考とする ※比重は「ポンドE390相当品」を参考とする

$$w = 50 \text{ mm (仮定)}$$

$$t = 3 \text{ mm (仮定)}$$

$$\gamma = 1.70$$

$$w1 = 140.25 \times 0.050 \times 0.003 \times 1700 = 35.764 \text{ kg}$$

$$w2 = 35.764 \times 0.37 = 13.233 \text{ kg}$$

ロス率37%

$$(\text{ロス率含む}) \Sigma W = 48.997 \text{ kg}$$

(3) 注入材

- 1) エポキシ樹脂注入材3種 ※ロス率は「コンクリートメンテナンス協会」を参考とする
※比重は「ボンドE2420相当品」を参考とする

・ $0.2 \leq w < 0.5$

$$\begin{aligned} w &= 0.35 \text{ mm (0.2~0.5mmの平均)} \\ t &= 70 \text{ mm ※ひびわれ幅} \times 200 \text{ (コンクリートメンテナンス協会より)} \\ \gamma &= 1.15 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} w1 &= 139.45 \times 0.00035 \times 0.070 \times 1150 &= 3.929 \text{ kg} \\ w2 &= 3.929 \times 0.40 &= 1.572 \text{ kg} \\ &\text{ロス率40\%} \end{aligned}$$

・ $1.0 \leq w < 5.0$

$$\begin{aligned} w &= 3.00 \text{ mm (1.0~5.0mmの平均)} \\ t &= 600 \text{ mm ※ひびわれ幅} \times 200 \text{ (コンクリートメンテナンス協会より)} \\ \gamma &= 1.15 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} w1 &= 0.80 \times 0.00300 \times 0.600 \times 1150 &= 1.656 \text{ kg} \\ w2 &= 1.656 \times 0.40 &= 0.662 \text{ kg} \\ &\text{ロス率40\%} &(\text{ロス率含む}) \Sigma W = 7.819 \text{ kg} \end{aligned}$$

- (4) 注入器（低圧注入器） ※設置間隔は「コンクリートメンテナンス協会」を参考とする

・ 設置間隔：250mm間隔

$$N = 140.25 / 0.25 = 561 \text{ 個}$$

2-2. ひびわれ補修工 数量表

番号	部 位	ひびわれ延長(m)				備 考
		$w < 0.2\text{mm}$	$0.2 \leq w < 0.5\text{mm}$	$0.5 \leq w < 1.0\text{mm}$	$1.0 \leq w \leq 5.0\text{mm}$	
	桁下面(第1径間)	H1	H2	H3	H4	
1			0.60			
2			0.60			
3			0.40			
4			0.60			
5			0.40			
6			0.30			
7			0.40			
8			0.30			
9			0.30			
10			0.40			
11			0.40			
12			0.40			
13			0.25			
14			0.40			
15			0.20			
16			0.30			
17			0.50			
18			0.90			
19			0.60			
20			0.80			
21			0.60			
22			0.40			
23			0.50			
24			0.75			
25			0.45			
26			0.40			
27			0.55			
28			0.50			
29			0.45			
30			0.45			
31			0.35			
32			1.00			
33			0.65			
34			0.60			
35			1.10			
36			0.50			
37			1.00			
38			0.20			
39			0.30			
40			0.40			
41			0.40			
42			0.40			
43			0.20			
44			0.20			
45			0.40			
46			0.40			
47			0.40			
48			0.40			
49			0.20			
50			0.35			
51			0.30			
52			0.45			

2-2. ひびわれ補修工 数量表

番号	部 位	ひびわれ延長(m)				備 考
		$w < 0.2\text{mm}$	$0.2 \leq w < 0.5\text{mm}$	$0.5 \leq w < 1.0\text{mm}$	$1.0 \leq w \leq 5.0\text{mm}$	
53			0.20			
54			0.45			
55			0.45			
56			0.40			
57			0.30			
58			0.40			
59			0.40			
60			0.40			
61			0.20			
62			0.40			
63			1.00			
64			0.60			
65			1.10			
66			0.60			
67			0.60			
68			0.60			
69			1.00			
70			0.70			
71			0.60			
72			0.70			
73			0.50			
74			0.55			
75			0.75			
76			0.50			
77			0.30			
78			0.40			
79			0.40			
80			0.30			
81			0.15			
82			0.20			
83			0.30			
84			0.25			
85			0.40			
86			0.40			
87			0.40			
88			0.40			
89			0.40			
90			0.25			
91			0.40			
92			0.45			
93			0.40			
94			0.40			
95			0.60			
96			0.60			
97			0.65			
98			0.65			
99			0.80			
100			0.25			
101			0.95			
102			0.60			
103			0.50			
	小計	0.00	49.50	0.00	0.00	

2-2. ひびわれ補修工 数量表

番号	部 位	ひびわれ延長(m)				備 考
		$w < 0.2\text{mm}$	$0.2 \leq w < 0.5\text{mm}$	$0.5 \leq w < 1.0\text{mm}$	$1.0 \leq w \leq 5.0\text{mm}$	
	桁下面(第2径間)					
1			0.70			
2			0.70			
3			0.80			
4			0.45			
5			0.30			
6			0.40			
7			0.20			
8			0.20			
9			0.20			
10			0.40			
11			0.20			
12			0.25			
13			0.40			
14			0.40			
15			0.30			
16			0.35			
17			0.35			
18			0.20			
19			0.40			
20			0.30			
21			0.50			
22			0.30			
23			1.00			
24			0.40			
25			0.60			
26			0.40			
27			0.40			
28			0.45			
29			0.30			
30			0.40			
31			0.30			
32			0.30			
33			0.30			
34			0.30			
35			0.40			
36			0.40			
37			0.60			
38			0.60			
39			0.80			
40			0.60			
41			0.30			
42			0.40			
43			0.50			
44			0.50			
45			0.60			
46			0.50			
47			0.55			
48			0.50			
49			0.75			
50			0.40			
51			0.70			
52			0.60			

2-2. ひびわれ補修工 数量表

番号	部 位	ひびわれ延長(m)				備 考
		$w < 0.2\text{mm}$	$0.2 \leq w < 0.5\text{mm}$	$0.5 \leq w < 1.0\text{mm}$	$1.0 \leq w \leq 5.0\text{mm}$	
53			0.70			
54			0.50			
55			0.10			
56			0.40			
57			0.30			
58			0.40			
59			0.30			
60			0.90			
61			0.85			
62			0.60			
63			0.70			
64			1.10			
65			0.60			
66			0.50			
67			0.45			
68			0.65			
69			0.55			
70			0.50			
71			0.50			
	小計	0.00	33.75	0.00	0.00	

2-2. ひびわれ補修工 数量表

番号	部 位	ひびわれ延長(m)				備 考
		$w < 0.2\text{mm}$	$0.2 \leq w < 0.5\text{mm}$	$0.5 \leq w < 1.0\text{mm}$	$1.0 \leq w \leq 5.0\text{mm}$	
	桁下面(第3径間)					
1			0.60			
2			0.60			
3			1.10			
4			0.40			
5			0.60			
6					0.40	
7			0.30			
8			0.40			
9			0.60			
10			0.30			
11			0.30			
12			0.30			
13			0.35			
14			0.30			
15			0.40			
16			0.40			
17			0.30			
18			0.40			
19			0.35			
20			0.40			
21			0.40			
22			0.40			
23			0.40			
24			0.40			
25			0.35			
26			0.70			
27			0.50			
28			0.60			
29			0.80			
30			0.65			
31			0.70			
32			0.60			
33			0.30			
34			0.35			
35			0.55			
36			0.30			
37			0.30			
38			0.15			
39			0.50			
40			0.80			
41			0.70			
42			0.40			
43			0.40			
44			0.20			
45			0.20			
46			0.30			
47			0.50			
48			0.20			
49			0.65			
50			0.35			
51			0.30			
52			0.50			

2-2. ひびわれ補修工 数量表

番号	部 位	ひびわれ延長(m)				備 考
		$w < 0.2\text{mm}$	$0.2 \leq w < 0.5\text{mm}$	$0.5 \leq w < 1.0\text{mm}$	$1.0 \leq w \leq 5.0\text{mm}$	
53			1.10			
54			0.60			
55			0.60			
56			0.60			
57			0.30			
58			0.30			
59			0.40			
60			0.40			
61			0.40			
62			0.10			
63			0.20			
64			0.40			
65			0.40			
66			0.40			
67			0.40			
68			0.40			
69			0.35			
70			0.40			
71			0.40			
72			0.40			
73			0.40			
74			0.40			
75			0.40			
76			0.40			
77			0.10			
78			0.30			
79			0.40			
80			0.40			
81			0.35			
82			0.40			
83			0.40			
84			0.40			
85			0.50			
86			0.70			
87			0.60			
88			0.30			
89			0.60			
90			0.40			
91			0.40			
92			0.60			
93			0.70			
94			0.75			
95			0.40			
96			0.50			
97			0.50			
98			0.70			
99			0.30			
100			1.10			
101			0.90			
102			0.90			
103					0.15	
104			0.20			

2-2. ひびわれ補修工 数量表

番号	部 位	ひびわれ延長(m)				備 考
		$w < 0.2\text{mm}$	$0.2 \leq w < 0.5\text{mm}$	$0.5 \leq w < 1.0\text{mm}$	$1.0 \leq w \leq 5.0\text{mm}$	
105			0.40			
106			0.40			
107			0.30			
108			0.20			
109			0.40			
110			0.20			
111			0.20			
112			0.40			
113			0.40			
114			0.40			
115			0.20			
116			0.30			
117			0.40			
118			0.30			
119			0.40			
120			0.40			
121			0.55			
122			0.65			
123			1.05			
124			0.50			
125			0.50			
126			0.50			
127			0.15			
128					0.25	
	小計	0.00	56.00	0.00	0.80	
	地覆(第2径間)					
1			0.20			
	小計	0.00	0.20	0.00	0.00	
	合計	0.00	139.45	0.00	0.80	

3. 断面修復工

各かぶり厚・鉄筋径（参考）

・上部工かぶり厚：

53

（各かぶり厚） 53 （横桁を採用）
・上部工鉄筋径：

26

（各鉄筋径） 26

・橋脚かぶり厚：

84

（各かぶり厚） 84
・橋脚鉄筋径：

9

（各鉄筋径） 9

・橋台かぶり厚：

107

（各かぶり厚） 107
・橋台鉄筋径：

13

（各鉄筋径） 13

・地覆かぶり厚：

75

（各かぶり厚） 75 （地覆高）
・地覆鉄筋径：

13

（各鉄筋径） 13 （推定）

3-1. 左官工法 （ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む） ※ロス率は「土木工事標準積算基準書」を参考とする

$$v1 = 2.295 \qquad \qquad \qquad = 2.295 \text{ m}^3$$

$$v2 = 2.295 \times \underset{\text{ロス率18\%}}{0.18} \qquad \qquad \qquad = 0.413 \text{ m}^3$$
$$\Sigma V = 2.708 \text{ m}^3$$

3-2. 殻運搬処分 （無筋コンクリート殻） ※ 殻数量は断面修復工と同量とする

$$V = 2.295 \qquad \qquad \qquad = 2.3 \text{ m}^3$$

$$W = 2.3 \times 2.35 \text{ t/m}^3 \qquad \qquad \qquad = 5.4 \text{ t}$$

3-3. 断面修復工 数量表

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
D	桁下面(第1径間)						
1		0.15 × 0.20	0.030	0.050	0.065	0.0015	
2		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
3		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
4		0.65 × 2.90	1.885	0.050	2.240	0.0943	
5		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
6		0.15 × 0.30	0.045	0.050	0.090	0.0023	
7		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
8		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
9		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
10		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
11		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
12		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
13		0.30 × 0.30	0.090	0.050	0.150	0.0045	
14		0.30 × 2.90	0.870	0.050	1.190	0.0435	
15		0.50 × 1.45	0.725	0.050	0.920	0.0363	
16		0.20 × 1.00	0.200	0.050	0.320	0.0100	
17		1.10 × 3.10	3.410	0.050	3.830	0.1705	
18		0.15 × 3.40	0.510	0.050	0.865	0.0255	
19		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
20		0.45 × 0.15	0.068	0.050	0.128	0.0034	
21		0.30 × 0.45	0.135	0.050	0.210	0.0068	
22		1.10 × 3.50	3.850	0.050	4.310	0.1925	
23		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
24		0.40 × 1.10	0.440	0.050	0.590	0.0220	
25		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
26		0.25 × 1.00	0.250	0.050	0.375	0.0125	
27		0.30 × 2.60	0.780	0.050	1.070	0.0390	
28		0.40 × 0.40	0.160	0.050	0.240	0.0080	
29		0.25 × 0.60	0.150	0.050	0.235	0.0075	
30		0.35 × 0.45	0.158	0.050	0.238	0.0079	
31		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
32		0.30 × 2.40	0.720	0.050	0.990	0.0360	
33		0.65 × 0.40	0.260	0.050	0.365	0.0130	
	小計		14.882		18.822	0.7440	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
D	桁下面(第2径間)						
1		0.70 × 0.80	0.560	0.050	0.710	0.0280	
2		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
3		0.70 × 0.80	0.560	0.050	0.710	0.0280	
4		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
5		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
6		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
7		0.40 × 0.50	0.200	0.050	0.290	0.0100	
8		0.20 × 1.20	0.240	0.050	0.380	0.0120	
9		0.40 × 1.10	0.440	0.050	0.590	0.0220	
10		0.40 × 2.90	1.160	0.050	1.490	0.0580	
11		0.65 × 1.30	0.845	0.050	1.040	0.0423	
12		0.35 × 1.30	0.455	0.050	0.620	0.0228	
13		0.65 × 1.40	0.910	0.050	1.115	0.0455	
14		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
15		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
16		0.05 × 0.15	0.008	0.050	0.028	0.0004	
17		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
18		0.30 × 0.45	0.135	0.050	0.210	0.0068	
19		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
20		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
21		0.20 × 0.45	0.090	0.050	0.155	0.0045	
22		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
23		0.15 × 0.50	0.075	0.050	0.140	0.0038	
24		0.15 × 0.25	0.038	0.050	0.078	0.0019	
25		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
26		0.25 × 0.10	0.025	0.050	0.060	0.0013	
27		0.25 × 0.45	0.113	0.050	0.183	0.0056	
28		0.10 × 0.30	0.030	0.050	0.070	0.0015	
29		0.10 × 0.40	0.040	0.050	0.090	0.0020	
30		0.20 × 0.15	0.030	0.050	0.065	0.0015	
31		0.05 × 0.20	0.010	0.050	0.035	0.0005	
32		0.15 × 0.90	0.135	0.050	0.240	0.0068	
33		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
34		0.15 × 0.20	0.030	0.050	0.065	0.0015	
35		0.40 × 1.00	0.400	0.050	0.540	0.0200	
36		0.65 × 6.40	4.160	0.050	4.865	0.2080	
37		0.10 × 0.15	0.015	0.050	0.040	0.0008	
	小計		10.901		14.301	0.5452	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
D	桁下面(第3径間)						
1		0.65 × 1.30	0.845	0.050	1.040	0.0423	
2		0.20 × 1.15	0.230	0.050	0.365	0.0115	
3		0.65 × 1.80	1.170	0.050	1.415	0.0585	
4		0.15 × 1.40	0.210	0.050	0.365	0.0105	
5		0.40 × 1.10	0.440	0.050	0.590	0.0220	
6		0.03 × 0.05	0.002	0.050	0.010	0.0001	
7		0.03 × 0.05	0.002	0.050	0.010	0.0001	
8		0.65 × 1.50	0.975	0.050	1.190	0.0488	
9		0.30 × 1.30	0.390	0.050	0.550	0.0195	
10		0.45 × 0.60	0.270	0.050	0.375	0.0135	
11		0.30 × 1.10	0.330	0.050	0.470	0.0165	
12		0.40 × 0.10	0.040	0.050	0.090	0.0020	
13		0.20 × 0.80	0.160	0.050	0.260	0.0080	
14		0.30 × 1.60	0.480	0.050	0.670	0.0240	
15		0.25 × 0.40	0.100	0.050	0.165	0.0050	
16		0.10 × 0.40	0.040	0.050	0.090	0.0020	
17		0.15 × 0.65	0.098	0.050	0.178	0.0049	
18		0.40 × 0.65	0.260	0.050	0.365	0.0130	
19		0.10 × 0.35	0.035	0.050	0.080	0.0018	
20		0.35 × 0.80	0.280	0.050	0.395	0.0140	
21		0.65 × 1.40	0.910	0.050	1.115	0.0455	
22		0.15 × 0.30	0.045	0.050	0.090	0.0023	
23		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
24		0.95 × 3.60	3.420	0.050	3.875	0.1710	
25		0.20 × 0.30	0.060	0.050	0.110	0.0030	
26		0.15 × 0.30	0.045	0.050	0.090	0.0023	
27		0.30 × 0.90	0.270	0.050	0.390	0.0135	
28		0.50 × 0.35	0.175	0.050	0.260	0.0088	
29		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
30		0.65 × 1.40	0.910	0.050	1.115	0.0455	
31		0.10 × 1.00	0.100	0.050	0.210	0.0050	
32		0.40 × 0.80	0.320	0.050	0.440	0.0160	
33		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
34		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
35		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
36		0.65 × 3.50	2.275	0.050	2.690	0.1138	
37		0.10 × 0.30	0.030	0.050	0.070	0.0015	
	小計		15.000		19.331	0.7503	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
D	地覆(第1径間)						
1		0.30 × 0.30	0.090	0.030	0.126	0.0027	
2		0.30 × 0.10	0.030	0.030	0.054	0.0009	
3		0.10 × 0.20	0.020	0.030	0.038	0.0006	
4		0.10 × 0.10	0.010	0.030	0.022	0.0003	
5		0.10 × 0.30	0.030	0.030	0.054	0.0009	
6		0.15 × 0.15	0.023	0.020	0.035	0.0005	
7		0.10 × 0.15	0.015	0.030	0.030	0.0005	
8		0.10 × 0.15	0.015	0.030	0.030	0.0005	
9		0.30 × 0.10	0.030	0.030	0.054	0.0009	
10		0.05 × 0.05	0.003	0.030	0.009	0.0001	
11		0.30 × 0.10	0.030	0.030	0.054	0.0009	
12		0.30 × 0.10	0.030	0.030	0.054	0.0009	
13		0.10 × 0.20	0.020	0.030	0.038	0.0006	
14		0.10 × 0.20	0.020	0.030	0.038	0.0006	
15		0.10 × 0.15	0.015	0.020	0.025	0.0003	
16		0.30 × 0.10	0.030	0.030	0.054	0.0009	
17		0.30 × 0.10	0.030	0.030	0.054	0.0009	
18		0.05 × 0.05	0.003	0.020	0.007	0.0001	
19		0.05 × 0.60	0.030	0.020	0.056	0.0006	
20		0.05 × 0.45	0.023	0.020	0.043	0.0005	
21		0.10 × 0.20	0.020	0.020	0.032	0.0004	
22		0.05 × 0.10	0.005	0.030	0.014	0.0002	
23		0.10 × 0.40	0.040	0.020	0.060	0.0008	
24		0.05 × 0.30	0.015	0.020	0.029	0.0003	
25		0.10 × 0.20	0.020	0.030	0.038	0.0006	
26		0.30 × 0.10	0.030	0.030	0.054	0.0009	
27		0.10 × 0.30	0.030	0.030	0.054	0.0009	
	小計		0.657		1.156	0.0183	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
D	地覆(第2径間)						
1		0.40 × 0.60	0.240	0.020	0.280	0.0048	
2		0.10 × 0.30	0.030	0.030	0.054	0.0009	
3		0.40 × 0.45	0.180	0.020	0.214	0.0036	
4		0.10 × 0.30	0.030	0.020	0.046	0.0006	
5		0.40 × 0.80	0.320	0.020	0.368	0.0064	
6		0.40 × 0.35	0.140	0.020	0.170	0.0028	
7		0.40 × 1.70	0.680	0.020	0.764	0.0136	
8		0.40 × 1.05	0.420	0.020	0.478	0.0084	
9		0.40 × 1.55	0.620	0.020	0.698	0.0124	
10		0.40 × 1.70	0.680	0.020	0.764	0.0136	
11		0.10 × 0.30	0.030	0.030	0.054	0.0009	
12		0.10 × 0.30	0.030	0.030	0.054	0.0009	
13		0.40 × 1.05	0.420	0.020	0.478	0.0084	
14		0.10 × 0.30	0.030	0.030	0.054	0.0009	
15		0.20 × 0.10	0.020	0.030	0.038	0.0006	
16		0.10 × 0.30	0.030	0.030	0.054	0.0009	
17		0.05 × 0.20	0.010	0.020	0.020	0.0002	
18		0.10 × 0.05	0.005	0.030	0.014	0.0002	
19		0.05 × 0.20	0.010	0.030	0.025	0.0003	
20		0.10 × 0.10	0.010	0.030	0.022	0.0003	
21		0.10 × 0.10	0.010	0.030	0.022	0.0003	
22		0.10 × 0.20	0.020	0.030	0.038	0.0006	
23		0.30 × 0.10	0.030	0.030	0.054	0.0009	
24		0.30 × 0.10	0.030	0.030	0.054	0.0009	
25		0.05 × 0.10	0.005	0.030	0.014	0.0002	
26		0.05 × 0.30	0.015	0.030	0.036	0.0005	
27		0.05 × 0.10	0.005	0.020	0.011	0.0001	
28		0.10 × 0.30	0.030	0.030	0.054	0.0009	
29		0.20 × 0.10	0.020	0.030	0.038	0.0006	
	小計		4.100		4.970	0.0857	
D	地覆(第3径間)						
1		0.10 × 0.30	0.030	0.030	0.054	0.0009	
2		0.20 × 0.10	0.020	0.030	0.038	0.0006	
3		0.20 × 0.05	0.010	0.030	0.025	0.0003	
4		0.05 × 0.25	0.013	0.030	0.031	0.0004	
5		0.05 × 0.15	0.008	0.030	0.020	0.0002	
6		0.05 × 0.15	0.008	0.020	0.016	0.0002	
7		0.05 × 0.15	0.008	0.020	0.016	0.0002	
8		0.10 × 0.30	0.030	0.030	0.054	0.0009	
9		0.20 × 0.10	0.020	0.030	0.038	0.0006	
10		0.10 × 0.30	0.030	0.030	0.054	0.0009	
11		0.10 × 0.10	0.010	0.030	0.022	0.0003	
12		0.30 × 0.10	0.030	0.030	0.054	0.0009	
13		0.05 × 0.05	0.003	0.030	0.009	0.0001	
14		0.10 × 0.15	0.015	0.030	0.030	0.0005	
15		0.05 × 0.05	0.003	0.020	0.007	0.0001	
	小計		0.238		0.468	0.0071	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
D	A1橋台						
1		0.15 × 0.80	0.120	0.050	0.215	0.0060	
2		0.15 × 2.20	0.330	0.050	0.565	0.0165	
3		0.35 × 0.20	0.070	0.050	0.125	0.0035	
4		0.15 × 0.50	0.075	0.050	0.140	0.0038	
	小計		0.595		1.045	0.0298	
D	P1橋脚						
1		0.20 × 0.30	0.060	0.050	0.110	0.0030	
	小計		0.060		0.110	0.0030	
D	P2橋脚						
1		0.30 × 0.30	0.090	0.050	0.150	0.0045	
2		0.15 × 0.40	0.060	0.050	0.115	0.0030	
3		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
4		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
5		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
6		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
7		0.55 × 3.00	1.650	0.050	2.005	0.0825	
8		0.25 × 0.30	0.075	0.050	0.130	0.0038	
9		0.60 × 0.30	0.180	0.050	0.270	0.0090	
10		0.20 × 0.50	0.100	0.050	0.170	0.0050	
11		0.20 × 0.30	0.060	0.050	0.110	0.0030	
	小計		2.227		3.002	0.1112	
D	A2橋台						
1		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
	小計		0.010		0.030	0.0005	
合計			48.670		63.235	2.295	

4. 表面保護工

4-1. 表面被覆工（高分子系浸透性防水材）

$$A = 596.181 = 596.2 \text{ m}^2$$

(1) 下地処理工（サンダーケレン）

$$A = 596.181 = 596.2 \text{ m}^2$$

(2) 被覆材塗布工

$$A = 596.181 = 596.2 \text{ m}^2$$

(3) 被覆材

※標準使用量は「アイゾールEX相当品」を参考とする
※ロス率は「コンクリートメンテナンス協会」を参考とする

$$w1 = 596.2 \times 0.25 \text{ kg/m}^2 = 149.05 \text{ kg}$$

(標準使用量)

$$w2 = 149.05 \times 0.05 = 7.45 \text{ kg}$$

ロス率 : 5%

$$\Sigma W = 156.50 \text{ kg}$$

4-2. 表面保護工 数量表

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m)	個数	面積 (m ²)	備 考
P	桁下面(第1径間)				
1		15.580 × 12.610	1	196.464	
2		- 0.450 × 0.730	3	-0.986	
3		- 1.914 × 0.340	4	-2.603	
4		- 2.974 × 0.250	2	-1.487	
5		- 0.450 × 0.680	3	-0.918	
6		- $\pi/4 \times 0.110^2$	4	-0.038	
7		$1/2 \times (0.850 + 1.150) \times 0.060$	4	0.240	
8		0.370 × 1.150	4	1.702	
9		0.300 × 1.150	4	1.380	
10		$1/2 \times (0.850 + 1.150) \times 0.060$	4	0.240	
11		0.900 × 1.150	4	4.140	
12		0.250 × 1.150	2	0.575	
	小計			198.709	
P	桁下面(第2径間)				
1		15.580 × 12.610	1	196.464	
2		- 0.450 × 0.680	3	-0.918	
3		- 1.914 × 0.340	4	-2.603	
4		- 2.974 × 0.250	2	-1.487	
5		- 0.450 × 0.685	3	-0.925	
6		- $\pi/4 \times 0.110^2$	4	-0.038	
7		$1/2 \times (0.850 + 1.150) \times 0.060$	4	0.240	
8		0.370 × 1.150	4	1.702	
9		0.300 × 1.150	4	1.380	
10		$1/2 \times (0.850 + 1.150) \times 0.060$	4	0.240	
11		0.900 × 1.150	4	4.140	
12		0.250 × 1.150	2	0.575	
	小計			198.770	
P	桁下面(第3径間)				
1		15.580 × 12.610	1	196.464	
2		- 0.450 × 0.685	3	-0.925	
3		- 1.914 × 0.340	4	-2.603	
4		- 2.974 × 0.250	2	-1.487	
5		- 0.450 × 0.730	3	-0.986	
6		- $\pi/4 \times 0.110^2$	4	-0.038	
7		$1/2 \times (0.850 + 1.150) \times 0.060$	4	0.240	
8		0.370 × 1.150	4	1.702	
9		0.300 × 1.150	4	1.380	
10		$1/2 \times (0.850 + 1.150) \times 0.060$	4	0.240	
11		0.900 × 1.150	4	4.140	
12		0.250 × 1.150	2	0.575	
	小計			198.702	
	合計			596.181	

5. 橋面防水工

5-1. 耐摩耗型薄層遮水性舗装工（スーパーロメンパッチDN工法相当）

(1) 下地処理工（路面洗浄）

$$\begin{aligned} a1 &= 4.550 \times 15.580 &= 70.9 \text{ m}^2 \\ a2 &= 4.550 \times 15.580 &= 70.9 \text{ m}^2 \\ a3 &= 4.550 \times 15.580 &= 70.9 \text{ m}^2 \\ \hline \Sigma A &= 212.7 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

(2) 含浸材塗布工（浸透系防水層）

$$A = 212.7 \quad = 212.7 \text{ m}^2$$

(3) 含浸材（浸透系防水層）

$$W = 212.7 \times \underset{\text{標準使用量}}{0.40 \text{ kg/m}^2} \times (1 + \underset{\text{ロス率5\%}}{0.05}) = 89.33 \text{ kg}$$

(4) 珪砂散布工（5号珪砂）

$$A = 212.7 \quad = 212.7 \text{ m}^2$$

(5) 珪砂（5号珪砂）

$$W = 212.7 \times \underset{\text{標準使用量}}{0.80 \text{ kg/m}^2} \times (1 + \underset{\text{ロス率5\%}}{0.05}) = 178.67 \text{ kg}$$

(6) 混合物敷設工

$$A = 212.7 \quad = 212.7 \text{ m}^2$$

(7) 薄層常温混合物（スーパーロメンパッチ相当品）

$$W = 212.7 \times 0.005 \times 2 \times (1 + 0.2) \times 1000 \div 4.5 = 567.20 \text{ 組}$$

6. 塗替塗装工

6-1. 支承防錆工 (Rc-Ⅲ塗装系)

(1) 清掃・水洗い

$$A = 3.474 = 3.474 \text{ m}^2$$

(2) 素地調整 (3種ケレン)

$$A = 3.474 = 3.474 \text{ m}^2$$

(3) 下塗 (弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 標準塗布量 : $200\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 3.474 = 3.474 \text{ m}^2$$

(4) 下塗 (弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 標準塗布量 : $200\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 3.474 = 3.474 \text{ m}^2$$

(5) 下塗 (弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 標準塗布量 : $200\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 3.474 = 3.474 \text{ m}^2$$

(6) 中塗 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 標準塗布量 : $140\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 3.474 = 3.474 \text{ m}^2$$

(7) 上塗 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 標準塗布量 : $120\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 3.474 = 3.474 \text{ m}^2$$

6-2. 塗替塗装工 数量表

部位	参照番号	計 算 式	面数	個数	Net	塗装面積 (m ²)	適 用
一般部（外面）							
支承							
固定							
Sh.	G1～G3	0.018	2	9	100%	0.324	CAD求積より
		0.085 × 0.022	4	9	100%	0.067	
		0.075 × 0.620	2	9	100%	0.837	
		0.075 × 0.085	4	9	100%	0.230	
		0.100 × 0.100	2	9	100%	0.180	
		0.100 × 0.022	2	9	100%	0.040	
		0.132 × 0.025	2	9	100%	0.059	
可動							
Sh.	G1～G3	0.018	2	9	100%	0.324	CAD求積より
		0.085 × 0.022	4	9	100%	0.067	
		0.075 × 0.620	2	9	100%	0.837	
		0.075 × 0.085	4	9	100%	0.230	
		0.100 × 0.100	2	9	100%	0.180	
		0.100 × 0.022	2	9	100%	0.040	
		0.132 × 0.025	2	9	100%	0.059	
		小計				3.474	
		合計				3.474	

7. 目地処理工

7-1. 止水材

(1) 適応遊間20mm (メジエイドMA20相当品)

【伸縮部】

$$L1 = 4.550 + 4.550 = 9.100 \text{ m}$$

【地覆部】

$$L2 = 0.400 + 0.400 + 0.400 + 0.400 = 1.600 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 10.700 \text{ m}$$

(2) 適応遊間30mm (メジエイドMA30相当品)

【伸縮部】

$$L1 = 4.550 = 4.550 \text{ m}$$

【地覆部】

$$L2 = 0.461 + 0.461 = 0.922 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 5.472 \text{ m}$$

(3) 適応遊間40mm (メジエイドMA40相当品)

【伸縮部】

$$L1 = 4.550 = 4.550 \text{ m}$$

【地覆部】

$$L2 = 0.461 + 0.461 = 0.922 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 5.472 \text{ m}$$

7-2. シール材

(1) 適応遊間20mm

$$V = 10.7 \times \underset{\text{標準使用量}}{0.30 \text{ l/m}} \times (1 + \underset{\text{ロス率10\%}}{0.1}) = 3.53 \text{ l}$$

(2) 適応遊間30mm

$$V = 5.5 \times \underset{\text{標準使用量}}{0.45 \text{ l/m}} \times (1 + \underset{\text{ロス率10\%}}{0.1}) = 2.72 \text{ l}$$

(3) 適応遊間40mm

$$V = 5.5 \times \underset{\text{標準使用量}}{0.60 \text{ l/m}} \times (1 + \underset{\text{ロス率10\%}}{0.1}) = 3.63 \text{ l}$$

7-3. 下地処理 (遊間部清掃)

$$L = 10.700 + 5.472 + 5.472 = 21.644 \text{ m}$$

8. 防護柵取替工

8-1. 防護柵撤去工

・ 防護柵撤去延長

$$L = 47.650 + 47.650 = 95.300 \text{ m}$$

8-2. スクラップ運搬処分 ※ スクラップ数量は想定数量とする

$$W = 2.0 = 2.0 \text{ t}$$

9. 防護柵取替工

9-1. 防護柵設置工

・ 防護柵設置延長

$$L = 46.810 + 46.810 = 93.620 \text{ m}$$

9-2. 支柱

$\phi 114.3 \times 4.5$

$$N = 25 + 25 = 50 \text{ 本}$$

9-3. ビームパイプ

$\phi 42.7 \times 2.3$

$$N = 46.710 + 46.710 = 93.420 \text{ m}$$

9-4. 笠木

$[-150 \times 50 \times 3.2]$

$$L = 45.600 + 45.600 = 91.200 \text{ m}$$

9-5. 橋梁用ビーム型防護柵

$2.3 \times 350 \times 50$

$$L = 46.810 + 46.810 = 93.620 \text{ m}$$

9-6. ケミカルアンカー (R-22SN相当品)

M22×230

$$N = (25 + 25) \times 4 = 200 \text{ 本}$$

9-7. 伸縮部加工費

$$N = 4 = 4 \text{ 箇所}$$

9-8. 橋名板 (300×150×15)

取替

$$N = 3 = 3 \text{ 枚}$$

新設

$$N = 1 = 1 \text{ 枚}$$

$$\Sigma N = \frac{1 \text{ 枚}}{4 \text{ 枚}}$$

10. 排水装置補修工

10-1. 排水装置補修工

(1) 排水装置

N = 12 = 12 基

(2) 取付金具 (SS400 溶融亜鉛めっき)

N = 12 = 12 組

11. 仮設足場工

11-1. 吊足場

(1) 吊足場 (桁高 $h < 1.5$)

$$a1 = 14.170 \times 5.350 = 75.810 \text{ m}^2$$

$$a2 = 14.215 \times 5.350 = 76.050 \text{ m}^2$$

$$a3 = 14.165 \times 5.350 = 75.783 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 227.643 \text{ m}^2$$

(2) 両側朝顔防護足場

$$A = 227.643 = 227.6 \text{ m}^2$$

(3) 板張・シート張防護

$$A = 227.643 = 227.6 \text{ m}^2$$

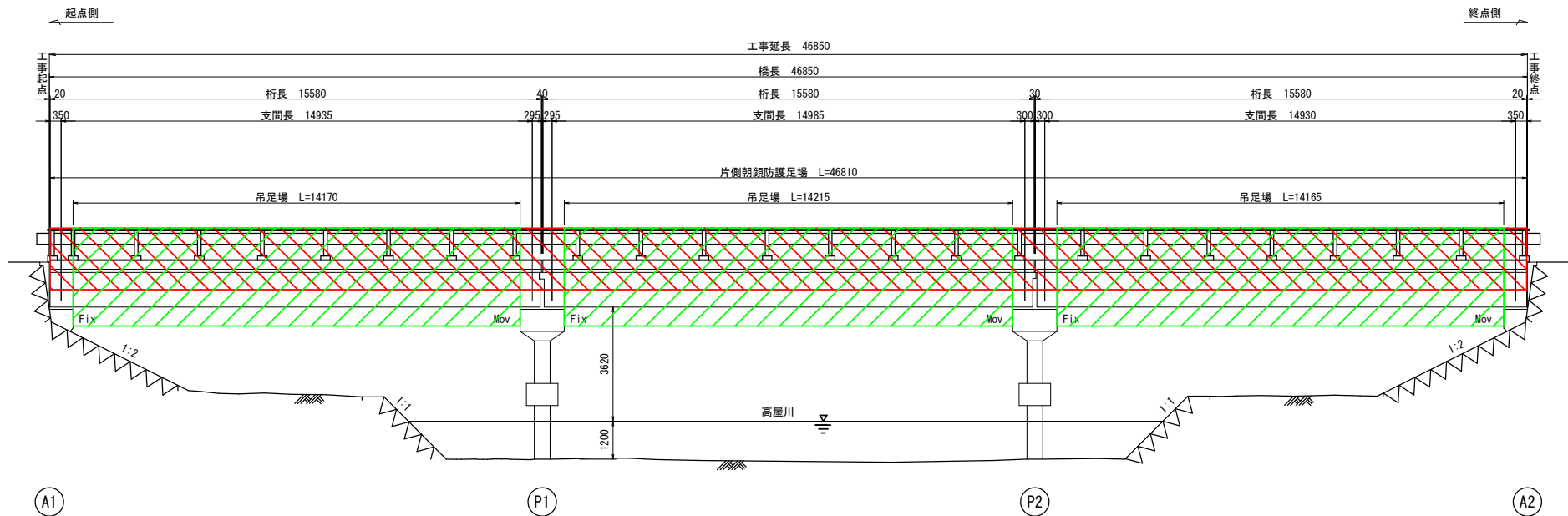
11-2. 片側朝顔防護足場 (タイプE シート及び板張防護含む 両側施工)

$$A = 46.810 \times (1.075 + 0.8) \times 2.000 = 175.5 \text{ m}^2$$

仮設足場図(参考図)

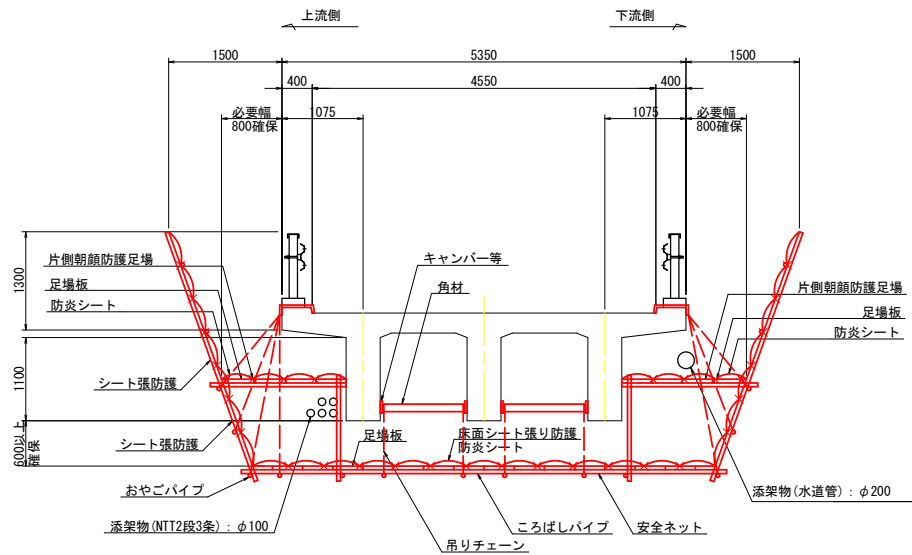
側面図

S=1:100



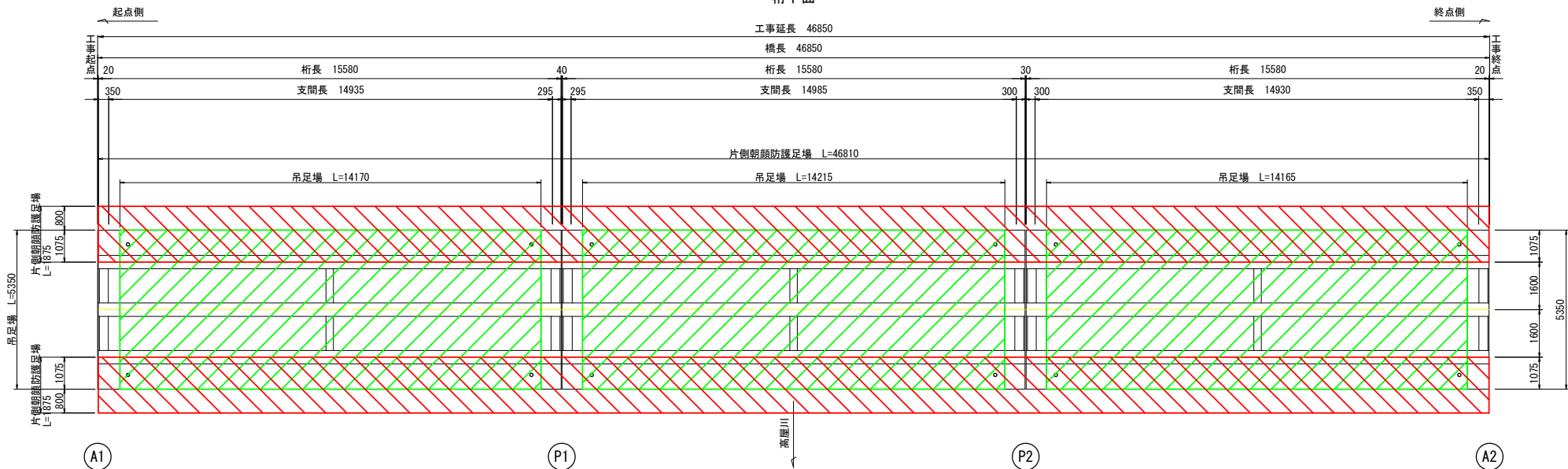
断面図

S=1:50



平面図

S=1:100



凡 例

	吊足場
	片側朝顔防護足場(タイプE)

A1→A3に縮小印刷

工事名	橋梁修繕工事(倉本橋)		
図面名	仮設足場図(参考図)		
作成年月日	令和8年6月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 1
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		